

注3

大学番号：私006

[平成26年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

北翔大学 教育文化学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人浅井学園
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ソウム ブサンヨ フジバヤシ トシヒコ
総務部参与 藤林 俊彦

電話番号 011-386-8011

（夜間） 011-386-8211

F A X 011-387-1542

e-mail soumu@hokusho-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育文化学部

＜教育学科・芸術学科・心理カウンセリング学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	31
4. 既設大学等の状況	32
5. 教員組織の状況	34
6. 留意事項等に対する履行状況等	79
7. その他全般的事項	82
8. 添付資料	「北翔大学 FD規程」

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 浅井学園

(2) 大 学 名

北翔大学

(3) 大学の位置

〒069-8511

北海道江別市文京台23番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カタ ショウイチ) 鎌田 昌市 (平成23年3月)		
学 長	(アイチ マサコ) 相内 眞子 (平成22年2月)	(ニシムラ ヒロキ) 西村 弘行 (平成26年2月)	任期満了に伴う変更 (26)
学 部 長		(アサヒ ヒデキ) 浅尾 秀樹 (平成26年4月)	平成26年4月1日就任 (26)
学科長等 (教育学科)		(ササキ ケイコ) 佐々木 邦子 (平成26年4月)	平成26年4月1日就任 (26)
学科長等 (芸術学科)		(ハヤシ トオル) 林 亨 (平成26年4月)	平成26年4月1日就任 (26)
学科長等 (心理カウンセリング学科)		(コサカ モリタカ) 小坂 守孝 (平成26年4月)	平成26年4月1日就任 (26)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ 様式は，平成24年度開設の4年制の学科の場合（平成27年度までの4年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育文化学部 教育学科 学士（教育学）	4年	120人	3年次 10人	500人	
教育文化学部 芸術学科 学士（芸術学）	4年	50人	5年次 5人	210人	
教育文化学部 心理カウンセリング学科 学士 （心理カウンセリング）	4年	50人	5年次 5人	210人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は，「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

教育学科

対象年度 区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120人 (ー) [ー]	ー人	120人 (ー) [ー]	ー人	ー人 (ー) [ー]	ー人	ー人 (ー) [ー]	ー人	1.00倍	ー 倍	
志願者数	201 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	208 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]			
受験者数	201 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	208 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]			
合格者数	200 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	207 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]			
B 入学者数	118 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	122 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	ー (ー) [ー]			
入学定員超過率 B/A	0.98		1.01		ー		ー				

芸術学科

区 分		対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員	備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	50人	—人	50人	—人	—人	—人	—人	—人	0.59倍	— 倍			
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)						
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]						
	志願者数	32	—	45	—	—	—	—	—					
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)					
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]					
	受験者数	32	—	45	—	—	—	—	—					
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)					
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]					
	合格者数	32	—	45	—	—	—	—	—					
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)					
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]					
B	入学者数	25	—	34	—	—	—	—	—					
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)					
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]					
入学定員超過率 B/A		0.50		0.68		—		—						

心理カウンセリング学科

区 分	対象年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定員	備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員		50人	—人	50人	—人	—人	—人	—人	—人	0.78倍	— 倍	
		(—)		(—)		(—)		(—)				
		[—]		[—]		[—]		[—]				
志願者数		62	—	79		—	—	—	—			
		(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)			
		[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
受験者数		62	—	78		—	—	—	—	0.78倍	— 倍	
		(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)			
		[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
合格者数		62	—	78		—	—	—	—			
		(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)			
		[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
B 入学者数		35	—	43		—	—	—	—	0.78倍	— 倍	
		(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)			
		[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
入学定員超過率 B/A		0.70		0.86		—		—				

(注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

教育学科

学 年	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[—] (—) 118	[—] (—) —	[—] (—) 122	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	
2 年次			[—] (—) 112	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	
3 年次					[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	
4 年次							[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	
計							[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	

芸術学科

学 年	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[—] (—) 25	[—] (—) —	[—] (—) 34	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	
2 年次			[—] (—) 25	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	
3 年次					[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	
4 年次							[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	
計							[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	[—] (—) —	

心理カウンセリング学科

学 年	対象年度	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		[ー] (ー) 35	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) 43	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	
2 年次				[ー] (ー) 34	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	
3 年次						[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー
4 年次								[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー
計				[ー] (ー) 35	[ー] (ー) 77			[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) ー

- (注) ・ 数字は、平成 2 7 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

教育学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	118 人	6 人	平成26年度	6 人	— 人	・他の教育機関への入学・転学(1人)・就職(1人)・経済的困窮(1人)・その他(3人)	5.1 %
			平成27年度	— 人	— 人	—	
			平成28年度	— 人	— 人	—	
			平成29年度	— 人	— 人	—	
平成27年度 入学者	122 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	—	0.0 %
			平成28年度	— 人	— 人	—	
			平成29年度	— 人	— 人	—	
平成28年度 入学者	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	—	— %
			平成29年度	— 人	— 人	—	
平成29年度 入学者	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人	—	— %
合 計	240 人	6 人					2.5 %

芸術学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	25 人	— 人	平成26年度	— 人	— 人	—	0.0 %
			平成27年度	— 人	— 人	—	
			平成28年度	— 人	— 人	—	
			平成29年度	— 人	— 人	—	
平成27年度 入学者	34 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	—	0.0 %
			平成28年度	— 人	— 人	—	
			平成29年度	— 人	— 人	—	
平成28年度 入学者	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	—	— %
			平成29年度	— 人	— 人	—	
平成29年度 入学者	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人	—	— %
合 計	59 人	— 人					0.0 %

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	35 人	— 人	平成26年度	— 人	— 人	—	0.0 %
			平成27年度	— 人	— 人	—	
			平成28年度	— 人	— 人	—	
			平成29年度	— 人	— 人	—	
平成27年度 入学者	43 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	—	0.0 %
			平成28年度	— 人	— 人	—	
			平成29年度	— 人	— 人	—	
平成28年度 入学者	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人	—	— %
			平成29年度	— 人	— 人	—	
平成29年度 入学者	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人	—	— %
合 計	78 人	— 人					0.0 %

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）

により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜教育文化学部 教育学科＞

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
導入 科目		基礎教育セミナーⅠ	1前	1			18 12	6 8	1 0 4				クラス編成に伴う教員増(27) 教員の退職・新規採用に伴う職名別人数 の変更(26)
		基礎教育セミナーⅡ	1後	1			18 12	6 8	1 0 4				クラス編成に伴う教員増(27) 教員の退職・新規採用に伴う職名別人数 の変更(26)
基礎 科目		日本語表現	1前	1			2						兼6
		数学入門	1後	1			1						兼7
		情報機器操作Ⅰ	1前	2			1						
		情報機器操作Ⅱ	1後	2			1						
		健康体育(実技を含む)	2前		2		1						兼4
		英語コミュニケーションⅠ	1前	2									兼1
外国 語 科 目		英語コミュニケーションⅡ	1後		2								兼1
		英語(中級)	2前		2								兼3 兼4 兼3 兼3 兼4 兼3
		英語(上級)	2後		2								クラス編成に伴う担当教員削除(27) 少人数教育実施のため担当教員追加(26)
		韓国語	2前		2								兼2
		中国語	2前		2								兼1
		ドイツ語	2前		2								兼1
		フランス語	2前		2								兼1
		スペイン語	2前		2								兼1
	全学 共 通 科 目	教 養 科 目	現代生活と政治・経済	2前		2							
現代生活と法律			2前		2								兼1
現代生活と福祉			2前		2								兼1
現代生活と芸術			2前		2		1	1					
現代生活と教育			2前		2		1						
現代生活と心と体			2前		2								兼1
現代生活と物理			2後		2								兼2
現代生活と宇宙			2後		2			1					
現代生活と環境科学			2後		2		1						
北海道の文化			2後		2								兼1
日本国憲法			2後		2								兼1
情報社会及び情報倫理			2後		2		1						
情報処理(中級)			3前		2		1						兼1
情報処理(上級)			3後		2								兼1
就 業 力 養 成 科 目		キャリアデザインⅠ	1前	1			1						兼6
		キャリアデザインⅡ	1後	2			1	1	1				兼2 専任教員退職に伴う担当教員変更(27) 展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
		キャリアデザインⅢ	2前	2			1						兼7 兼3 展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
		キャリア演習Ⅰ	3前	1			1	1					兼5 兼2 展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
		キャリア演習Ⅱ	3後	1									兼1
		キャリア演習Ⅲ	4前		1			1					
		キャリア演習Ⅳ	4後		1								兼1
		就業力特別講義Ⅰ	2後	1			1						兼7
		就業力特別講義Ⅱ	3前	1									兼2
		インターンシップ	2・3後		2								兼1
小計(40科目)		—	19	50	0	18 12	6 8	1 0 4	0	0	兼46 兼48 兼40	—	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考		
				必修	選択自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国人留学生科目		日本語	1前		2						兼1		
		現代日本の文化	1後		2						兼1		
		小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	兼2	—	
発展科目	関心する身・健康に	食生活と健康	1前		2						兼1		
		スポーツ施設管理論	4前		2						兼1		
		心理学概論	1前		2						兼1		
		心理統計法	2前		2						兼1		
		生涯発達心理学	1前		2						兼1		
		人間関係の心理学	1後		2						兼1		
		育児支援の心理学	2前		2						兼1		
		福祉心理学	1後		2						兼1		
		犯罪心理学	2後		2						兼1		
	関社会と生活に	社会学	1前		2						兼1		
		社会保障論Ⅰ	3前		2						兼1		
		地域福祉論Ⅰ	3前		2						兼1		
		生活の中の介護福祉	2前		2						兼1		
		高齢社会の街づくり	3後		2						兼1		
		社会教育概論	3後		2						兼1		
		社会教育計画	4前		2						兼1		
		社会教育課題研究	4前		2						兼1		
		社会教育課題演習	4後		2						兼1		
	社会教育施設論	4前		2						兼1			
	関文化と芸術に	ファッションデザイン概論	1前		2						兼2		
		インテリアデザイン	1後		2						兼1		
		ユニバーサルデザイン	1後		2						兼1		
		空間デザイン史	2前		2						兼1		
		美術史	2後		2						兼1		
	美学	3前		2						兼1			
	小計(25科目)		—	0	50	0	0	0	0	0	0	兼22	—
学部共通科目	教育文化学	1前		2		1					兼3		
	芸術と心理学	1後		2							兼1		
	生涯学習論	2前		2		1							
	生涯学習展開論	2後		2						兼1			
	メディアデザイン概論	1前		2						兼2			
	カウンセリング心理学	2後		2						兼1			
	青少年学習コーチング論	3前		2		1							
	リカレント教育論	4前		2		1							
小計(8科目)		—	0	16	0	2	0	0	0	0	兼8	—	
学科専門科目	コース共通科目	教職概論	1後	2			2						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
		教育原理	1前	2							兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)	
		教育心理学	1前	2			1				兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)	
		教育経営学	4前	2							兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)	
		介護等体験	2・3通 2前	1		1	1					教育効果を考慮し、配当年次を変更(27)	
		学校ボランティア活動Ⅰ	2・3・4通 2・3・4前・後	1		3	1					教育効果を考慮し、配当年次を変更(27)	
		学校ボランティア活動Ⅱ	3・4通 2・3・4前・後	1		3	1					教育効果を考慮し、配当年次を変更(27)	
		学習コーチング学概論	1前	2		1						教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
		専門演習Ⅰ	3前	2		19 18 12	6 8	1 0 4				教員の退職・新規採用に伴う職名別人数の変更(27) 教員の退職・新規採用に伴う職名別人数の変更(26)	
		専門演習Ⅱ	3後	2		19 18 12	6 8	1 0 4				教員の退職・新規採用に伴う職名別人数の変更(27) 教員の退職・新規採用に伴う職名別人数の変更(26)	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
学 科 専 門 科 目	卒業研究	4通	4			19 18 12	6 8	1 0 4			教員の退職・新規採用に伴う職名別人数 の変更(27) 教員の退職・新規採用に伴う職名別人数 の変更(26)	
	特別支援教育総論	1後	2	2		2 1					兼5 教育内容の充実を図るため教員を追加(26)	
	知的障害者の心理・生理・病理	2前		2		1					兼3 教育内容の充実を図るため教員を追加(26)	
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2前		2		1					兼2 教育内容の充実を図るため教員を追加(26)	
	病弱者の心理・生理・病理	2後		2		1						
	知的障害教育Ⅰ	3前	2	2		1					兼1 教員免許課程認定申請時の指摘による教 員の変更及び必修科目の変更(26)	
	知的障害教育Ⅱ	4前		2		1		1			兼1 教員免許課程認定申請時の指摘による教 員の追加・変更(26)	
	肢体不自由教育Ⅰ	3前		2							兼1	
	肢体不自由教育Ⅱ	4前		2							兼1	
	病弱教育	3前		2		1					兼1 教員免許課程認定申請時の指摘による教 員の変更(26)	
	視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	3後		1		1					兼1 教員免許課程認定申請時の指摘による教 員の変更(26)	
	重複障害者の心理・生理・病理	3後		1		1						
	発達障害者等の心理・生理・病理	2後	1	1							兼1 教員免許課程認定申請時の指摘による必 修科目の変更(26)	
	視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	3後		1		1					兼1 教員免許課程認定申請時の指摘による教 員の変更(26)	
	重複障害者の教育課程及び指導法	3後		1		1					兼1 教員免許課程認定申請時の指摘による教 員の変更(26)	
	発達障害者等の教育課程及び指導法	2後	1	1							兼1 教員免許課程認定申請時の指摘による必 修科目の変更(26)	
	特別支援教育実習事前指導	3後		1		3						
	特別支援教育実習事後指導	4後		1		3						
	特別支援教育実習	4前・後		2		3						
	就業力特別演習Ⅰ	3前		1		1					時間割編成上のため科目削除(26)	
	就業力特別演習Ⅱ	3後		1		1					時間割編成上のため科目削除(26)	
	就業力特別演習Ⅲ	4前		1		1					時間割編成上のため科目削除(26)	
	特別支援学校論Ⅰ	3前		2		1					教員免許課程認定申請時の教育課程充実 の指摘による科目の追加(26)	
	特別支援学校論Ⅱ	3前		2		1					教員免許課程認定申請時の教育課程充実 の指摘による科目の追加(26)	
	特別支援実践論Ⅰ	3前		2		1					教員免許課程認定申請時の教育課程充実 の指摘による科目の追加(26)	
	特別支援実践論Ⅱ	3後		2		1					教員免許課程認定申請時の教育課程充実 の指摘による科目の追加(26)	
	特別支援実践論Ⅲ	4前		2		1					教員免許課程認定申請時の教育課程充実 の指摘による科目の追加(26)	
	小計(30科目)	—	14	37	0	20 19	6	1 0	0	0	兼11 兼12	—
	小計(31科目)		16	34		12	8	4			兼6	
初 等 教 育 ・ 幼 児 教 育 コ ー ス 共 通 科 目	国語科概論(書写を含む)	1後	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	
	算数科概論	1後	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	
	生活科概論	2前	2			1	1				教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	
	造形美術概論	1後	2				1				教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	
	音楽科概論	1前	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	
	体育科概論	1前	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	
	音楽実習Ⅰ	1前		1		1					教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	
	音楽実習Ⅱ	1後		1		1					教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	
	教育課程論(幼・小)	3前	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	
	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)	3前	2			2					教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	
	教育相談論(カウンセリングを含む)(幼・小)	3前	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	
	教育実習事前指導(幼・小)	2後		1		2	2				教員免許課程認定申請時の指摘による科 目の削除(26)	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
学科専門科目	初等教育コース共通幼児教育 教育実習事後指導（幼・小）	3後		1		2	2					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
	教育実習Ⅰ（幼・小）	3前		4		2	2					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
	教育実習Ⅱ（幼・小）	3後		2		2	2					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
	教職実践演習（幼・小）	4後		2		1	1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
	小計(16科目)	—	18	12	0	8	2				兼0	—
	養護教諭コース専門科目 教育課程論	3前	2								兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
	道徳教育論	2前	2								兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
	特別活動論	2前	2								兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
	教育方法論(情報機器-教材活用を含む)	3前	2			2						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
	生徒指導論(進路指導を含む)	2後	2			1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
	教育相談論(カウンセリングを含む)	3前	2			1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
	小計(6科目)	—	12	0	0	3	0	0	0	0	兼2	—
	初等教育コース専門科目 学習コーチング学概論	1前		2		1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
	国語科概論(書写を含む)	1後	2			1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	社会科概論	1前 1後		2		1						教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更(26)
	算数科概論	1前	2			1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	理科概論	1後		2			1					
	生活科概論	2前	2			2 1	1					展開方法変更に伴う担当教員追加(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	音楽科概論	1前	2			1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	音楽実習Ⅰ	1前		1		1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	音楽実習Ⅱ	1後		1		1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	造形美術概論	1後	2				1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	家庭科概論	1後 1前		2			1					教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更(26)
	体育科概論	1前	2			1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教職概論(幼・小)	1前	2			2						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育原理(幼・小)	1前	2								兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育心理学(幼・小)	1後	2								兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育経営学(幼・小)	1後	2								兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育課程論(幼・小)	3前	2			2 1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	国語科指導法Ⅰ	2前	2	2		1						教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26)
	国語科指導法Ⅱ	2後		2		1						
	国語科指導法Ⅲ	3前		2		1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	社会科指導法Ⅰ	2前 2後		2		1 1					兼1	教育内容の充実を図るため担当教員変更(27)
	社会科指導法Ⅱ	3前		2		1					兼1	教育内容の充実を図るため担当教員変更(27)
	社会科指導法Ⅲ	3後		2		1					兼1	教育内容の充実を図るため担当教員変更(27)
	算数科指導法Ⅰ	1後 2前	2	2		1						教育効果を考慮し、配当年次を1年次に変更(26)
	算数科指導法Ⅱ	2後		2		1						
	算数科指導法Ⅲ	3後		2		1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
学科専門科目	理科指導法Ⅰ	2前		2			1					
	理科指導法Ⅱ	3前 3後		2			1					教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更(26)
	理科指導法Ⅲ	4前		2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	生活科指導法Ⅰ	2前	2	2		1					兼1	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
	生活科指導法Ⅱ	2後		2		1					兼1	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
	生活科指導法Ⅲ	3後		2		1					兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	音楽科指導法Ⅰ	2前	2	2		1						教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26)
	音楽科指導法Ⅱ	2後		2		1						
	音楽科指導法Ⅲ	3後		2		1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	図画工作科指導法Ⅰ	2後	2	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26)
	図画工作科指導法Ⅱ	3前		2			1					
	図画工作科指導法Ⅲ	4前		2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	家庭科指導法Ⅰ	2後 2前		2			1				兼1	教育効果を考慮し、開講学期を後学期に変更、教育課程の充実を図るため教員を追加(26)
	家庭科指導法Ⅱ	3前 2後		2			1				兼1	教育効果を考慮し、配当年次を3年次に変更、教育課程の充実を図るため教員を追加(26)
	家庭科指導法Ⅲ	4前		2			1				兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	体育科指導法Ⅰ	2後	2	2		1						教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26)
	体育科指導法Ⅱ	3前		2		1						
	体育科指導法Ⅲ	3後		2		1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	道徳教育論(小)	2後 3前	2	2		1					兼1	教育効果を考慮し、配当年次を変更(27) 教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
	特別活動論(小)	2前	2	2							兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26)
	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)	3前	2			2						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	生徒指導論(進路指導を含む)(小)	2後 3前	2	2		1						教育効果を考慮し、配当年次を変更(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26)
	教育相談論(カウンセリングを含む)(幼・小)	3前	2			1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育実習事前指導(幼・小)	2後		1		2	2					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育実習事後指導(幼・小)	3後		1		2	2					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育実習Ⅰ(幼・小)	3前		4		2	2					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育実習Ⅱ(幼・小)	3後		2		2	2					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教職実践演習(幼・小)	4後		2		1	1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	小学校英語	2後 2前	2	2		1						教育効果を考慮し、配当年次を変更(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26)
	小学校教育研究Ⅰ	3前	2				1					教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
	小学校教育研究Ⅱ	3後		2		1						教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
	小学校教育研究Ⅲ	4前		2		1						教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
	特別支援学校論Ⅰ	3前		2		1						時間割編成上のため科目削除(26)
	特別支援学校論Ⅱ	3前		2		1						時間割編成上のため科目削除(26)
	特別支援実践論Ⅰ	3前		2		1						時間割編成上のため科目削除(26)
	特別支援実践論Ⅱ	3後		2		1						時間割編成上のため科目削除(26)
	特別支援実践論Ⅲ	4前		2		1						時間割編成上のため科目削除(26)
	小計(57科目)	—	48	64	0	10	4	0	0	0	兼7 兼8	—
	小計(31科目)	—	0	62		3					兼2	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
学科専門科目	国語科概論(書写を含む)	1後	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	算数科概論	1前	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	生活科概論	2前	2			2 +	+				展開方法変更に伴う担当教員追加(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	音楽科概論	1前	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	音楽実習Ⅰ	1前		1		1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	音楽実習Ⅱ	1後		1		1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	造形美術概論	1後	2				1				教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	体育科概論	1前	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教職概論(幼・小)	1前	2			2					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育原理(幼・小)	1前	2							兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	保育原理	1前	2			2 +				兼+	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(27) 教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
	教育心理学(幼・小)	1後	2							兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育経営学(幼・小)	1後	2							兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育課程論(幼・小)	3前	2			2 +					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	保育内容総論	1後	2			1				兼+	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(27)
	保育内容指導論	2前	2			1					
	保育内容(健康)	2前	2							兼1	
	保育内容指導(健康)	3前		2						兼1	
	保育内容(人間関係)	2後 1後	2			1				兼+	教育効果を考慮し、配当年次を2年次に変更し、専任教員に変更(26)
	保育内容指導(人間関係)	3前		2						兼1	
	保育内容(環境)	2後 1前	2			1	+			兼1	教育効果を考慮し、配当年次を2年次に変更し、専任教員に変更(26)
	保育内容指導(環境)	3前		2		1	1				教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
	保育内容(言葉)	2前	2			1	1				教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
	保育内容指導(言葉)	3前		2			1				
	保育内容(表現)	2前	2				2 +				教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
	保育内容指導(表現)	3前		2			1				
	こども理解	3前	2	2						兼2 兼+	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
	こどもの表現あそび	2後		2			1				
	こどもの体育あそび	2後		2		1					
	こどもの言葉あそび	2後		2			1				
	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)	3前	2			2					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育相談論(カウンセリングを含む)(幼・小)	3前	2			1					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育実習事前指導(幼・小)	2後		1		2	2				教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育実習事後指導(幼・小)	3後		1		2	2				教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育実習Ⅰ(幼・小)	3前		4		2	2				教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育実習Ⅱ(幼・小)	3後		2		2	2				教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教職実践演習(幼・小)	4後		2		1	1				教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	幼稚園教育研究Ⅰ	3前	2				1				教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
	幼稚園教育研究Ⅱ	3後		2		1					教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
	幼稚園教育研究Ⅲ	4前		2			1				教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
	児童家庭福祉	2後		2						兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
学科専門科目	社会福祉	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため必修科目を追加(26)
	相談援助	2後		2		1					兼1	
	社会的養護	2前		2							兼1	
	保育者論	1後	2	2							兼1	
	保育の心理学Ⅰ	3後		2							兼1	
	保育の心理学Ⅱ	4前		1							兼1	
	こどもの保健Ⅰa	2前		2		1						
	こどもの保健Ⅰb	2後		2		1						
	こどもの保健Ⅱ	3前		1			1					
	こどもの食と栄養	4後		2			1					
	家庭支援論	3後		2		1						
	保育課程論	4前		2							兼1	
	乳児保育	3後		2							兼1	
	障害児保育	4前		2		1						
	社会的養護内容	3前		1							兼1	
	保育相談支援	4前		1							兼1	
	保育実習Ⅰ	3後		4			1					
	保育実習Ⅱ	4前		2		1	2					
	保育実習Ⅲ	4前		2		1	2					
	保育実習指導Ⅰ	3後		2		1	2					
	保育実習指導Ⅱ	4前		1		1	2					
	保育実習指導Ⅲ	4前		1		1	2					
	保育実践演習	4後		2		1	2					
	小計(64科目)	—	48	74	0	11	5	0	0	0	兼14 兼15	—
	小計(41科目)	—	16	62		8					兼9	
学科専門科目	衛生学	2前		2		1						教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
	衛生学実験	2前		2		1						
	公衆衛生学	2後	2			1						
	学校保健	2前	2			1						
	学校保健演習Ⅰ	3前		2		2 +						
	学校保健演習Ⅱ	3後		2		2 +						
	学校保健管理論	2後		2		1						
	学校保健組織活動論	4前		2		1						
	学校保健執務演習	2後		1		2 +						
	養護実践学Ⅰ	1前	2			1						
	養護実践学Ⅱ	1後	2	2		1						
	養護活動実習Ⅰ	3前	2			2						
	養護活動実習Ⅱ	3後		2		2						
	養護実践学演習	2後		3		2						
	健康相談活動の理論及び方法	1後	2			1						
	健康相談活動演習	2前	2	2		2						
	栄養学(食品学を含む)	1後	2								兼1	
	解剖生理学	1後	2								兼1	
	薬理概論	2前	2								兼1	
	微生物学(免疫学を含む)	1前		2							兼1	
	精神保健	3前	2								兼1	
	看護学概論	1前	2				1					
	看護学各論	1後	2				1					

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
学科専門科目	看護学特別講義	1後		2			1				教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
	看護技術演習(救急処置を含む)Ⅰ	1後	2				1					
	看護技術演習(救急処置を含む)Ⅱ	2前		2			1					
	救急処置活動論	2前		2			1				教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
	看護学臨床実習	2前		4			1					
	養護教諭基礎セミナーⅠ	1前		2		3	1				教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
	養護教諭基礎セミナーⅡ	1後		2		3	1				教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
	養護教諭教育演習Ⅰ	2前		2		3 2	1				教育内容の充実を図るため教員を追加(27) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
	養護教諭教育演習Ⅱ	2後		2		3 2	1				教育内容の充実を図るため教員を追加(27) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
	ヘルスアセスメント論	1後		2		2					教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
	保健室経営演習Ⅰ	4前		2		1					教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
	保健室経営演習Ⅱ	4後		2		1					教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
	保健指導演習	2後		2		2					教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
	健康診断演習	2後		2		2					教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)	
	教職概論	1前	2			2					教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)	
	教育原理	1後 1前	2								兼1	教育効果を考慮し、配当年次を変更(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育心理学	1後	2			1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育経営学	2前 1後	2								兼1	教育効果を考慮し、配当年次を変更(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育課程論	3前	2			1					兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	道德教育論	2前	2								兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	特別活動論	2前	2			1					兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	3前	2			2						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	生徒指導論	2後	2			1					兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	教育相談論(カウンセリングを含む)	3前	2			1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
	養護実習事前指導	2後		1		2						教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
	養護実習事後指導	3前		1		2						
	養護実習	3前		4		2						
	教職実践演習(養護教諭)	4後		2		2						
	養護教諭教育研究Ⅰ	3後	2			1						
	養護教諭教育研究Ⅱ	4前		2		1						
	養護教諭教育研究Ⅲ	4後		2		1						
	小計(54科目)	—	48	62	0	8	1	0	0	0	兼11	
	小計(24科目)	—	30	24	0	3	1	0	0	0	兼5	
	音楽コース専門科目											
	ソルフェージュ	1前	2			1						教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26) 教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26) 展開方法変更に伴う担当教員削除(27) 専任教員退職に伴う変更(27)
	楽典	1前	2			1						
	音楽概論	1後	2	2		1						
	音楽鑑賞法	2前	2	2			1					
	音楽史	2後	2			2 3	1					
	和声学	2前		2		4					兼1	

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
学科専門科目	音楽コース専門科目	作曲法	2後		2		1					兼1 兼1	専任教員退職に伴う変更(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
		指揮法	3前	2			1						
		合唱Ⅰ	2前	1			1						
		合唱Ⅱ	2後	1	1		1						教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26)
		合奏Ⅰ	2前	1			1	1					
		合奏Ⅱ	2後	1	1		1	1					教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26)
		生涯学習音楽指導論	3前		2		1						
		声楽基礎演習Ⅰ	1前	2			1					兼4	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		声楽基礎演習Ⅱ	1後	2			1					兼4	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		声楽表現演習Ⅰ	2前		2		1					兼4	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		声楽表現演習Ⅱ	2後		2		1					兼4	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		器楽基礎演習Ⅰ	1前	2			1	1				兼4	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		器楽基礎演習Ⅱ	1後	2			1	1				兼5	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		器楽表現演習Ⅰ	2前		2		1	1				兼5	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		器楽表現演習Ⅱ	2後		2		1	1				兼4	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		ピアノ応用	3前		2		1						
		ピアノ基礎演習Ⅰ	1前	2			1					兼4	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		ピアノ基礎演習Ⅱ	1後	2			1					兼4	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		ピアノ表現演習Ⅰ	2前		2		1					兼4	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		ピアノ表現演習Ⅱ	2後		2		1					兼4	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
		ピアノ総合演習Ⅰ	3後		2		1					兼2	
		ピアノ総合演習Ⅱ	4前		2		1					兼2	
		コードと即興	3前		2							兼1	
		音楽教育フィールド演習Ⅰ	2前 3前	2	2		2 3	1					展開方法変更に伴う担当教員削除(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26)
		音楽教育フィールド演習Ⅱ	2後 3後		2		2 3	1					展開方法変更に伴う担当教員削除(27)
		音楽教育フィールド演習Ⅲ	4前		2		3	1					時間割編成上のため科目削除(26)
		音楽教育フィールド演習Ⅳ	4後		2		3	1					時間割編成上のため科目削除(26)
		教職概論	1前	2			2						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
		教育原理	1後 1前	2								兼1	教育効果を考慮し、配当年次を変更(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
		教育心理学	1後	2			1						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
		教育経営学	2前 1後	2								兼1	教育効果を考慮し、配当年次を変更(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
		教育課程論	3前	2			1					兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
		音楽科教育法Ⅰ	2前	2	2		1					兼1	専任教員新規採用に伴う変更(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による必修科目の変更(26)
		音楽科教育法Ⅱ	2後		2		1					兼1	専任教員新規採用に伴う変更(27)
		音楽科教育法Ⅲ	3前		2							兼1	
		音楽科教育法Ⅳ	3後		2							兼1	
		道德教育論	2前	2								兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
		特別活動論	2前	2			1					兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
		教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	3前	2			2						教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
		生徒指導論(進路指導を含む)	2後	2			1					兼1	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
		教育相談論(カウンセリングを含む)	3前	2			1						

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
学科専門科目	音楽コース専門科目											
	教育実習事前指導	3後		1		2						
	教育実習事後指導	4後		1		2						
	教育実習Ⅰ	4前・後		4		2						
	教育実習Ⅱ	4前・後		2		2						
	教職実践演習（中・高）	4後		2		2						
	音楽教育研究Ⅰ	3前	2				1					教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
	音楽教育研究Ⅱ	3後		2		1						教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
	音楽教育研究Ⅲ	4前		2		1						教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
	小計(53科目)	—	48	54	0	8	1	0	0	0	兼11 兼23	—
	小計(42科目)	—	28	52	0	3	1	0	0	0	兼11 兼23	—
合計(304科目)		—	181	399	0	20 19	6	1 0	0	0	兼103 兼105	—
合計(266科目)		—	139	363	0	12	8	4	0	0	兼101 兼102	—

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
75	191	0	266	96 [21]	208 [17]	0 [0]	304 [38]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	教職概論	2	1・後	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、コース共通科目から各コース専門科目へ変更。初等教育コース及び幼児教育コースでは「教職概論(幼・小)」に科目名変更。配当年次は1年次前期に変更。(26)
2	教育原理	2	1・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、コース共通科目から各コース専門科目へ変更。初等教育コース及び幼児教育コースでは「教育原理(幼・小)」に科目名変更。(26)
3	教育心理学	2	1・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、コース共通科目から各コース専門科目へ変更。初等教育コース及び幼児教育コースでは「教育心理学(幼・小)」に科目名変更。配当年次は1年次後期に変更。(26)
4	教育経営学	2	4・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、コース共通科目から各コース専門科目へ変更。初等教育コース及び幼児教育コースでは「教育経営学(幼・小)」に科目名変更。配当年次は4年次後期に変更。(26)
5	就業力特別演習Ⅰ	1	3・前	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり新規科目を追加したことにより、時間割編成上の理由で削除。(26)
6	就業力特別演習Ⅱ	1	3・後	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり新規科目を追加したことにより、時間割編成上の理由で削除。(26)
7	就業力特別演習Ⅲ	1	4・前	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり新規科目を追加したことにより、時間割編成上の理由で削除。(26)
8	国語科概論(書写を含む)	2	1・後	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
9	算数科概論	2	1・後	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。配当年次は1年次前期に変更。(26)
10	生活科概論	2	2・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
11	造形美術概論	2	1・後	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
12	音楽科概論	2	1・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
13	体育科概論	2	1・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)

14	音楽実習Ⅰ	1	1・前	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
15	音楽実習Ⅱ	1	1・後	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
16	教育課程論(幼・小)	2	3・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
17	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)	2	3・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
18	教育相談論(カウンセリングを含む)(幼・小)	2	3・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
19	教育実習事前指導(幼・小)	1	2・後	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
20	教育実習事後指導(幼・小)	1	3・後	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
21	教育実習Ⅰ(幼・小)	4	3・前	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
22	教育実習Ⅱ(幼・小)	2	3・後	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
23	教職実践演習(幼・小)	2	4・後	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり、初等教育・幼児教育コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
24	教育課程論	2	3・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、養護教諭・音楽コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
25	道德教育論	2	2・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、養護教諭・音楽コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
26	特別活動論	2	2・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、養護教諭・音楽コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
27	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	2	3・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、養護教諭・音楽コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
28	生徒指導論(進路指導を含む)	2	2・後	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、養護教諭・音楽コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
29	教育相談論(カウンセリングを含む)	2	3・前	専門	必修	教員免許課程認定申請時に指摘があり、養護教諭・音楽コース共通科目から各コース専門科目へ変更。(26)
30	学習コーチング学概論	2	1・前	専門	選択	全コースの学生に履修機会を与えるため、初等教育コース専門科目からコース共通科目へ変更。(26)
31	特別支援学校論Ⅰ	2	3・前	専門	選択	全コースの学生に履修機会を与えるため、初等教育コース専門科目からコース共通科目へ変更。(26)
32	特別支援学校論Ⅱ	2	3・前	専門	選択	全コースの学生に履修機会を与えるため、初等教育コース専門科目からコース共通科目へ変更。(26)
33	特別支援実践論Ⅰ	2	3・前	専門	選択	全コースの学生に履修機会を与えるため、初等教育コース専門科目からコース共通科目へ変更。(26)
34	特別支援実践論Ⅱ	2	3・後	専門	選択	全コースの学生に履修機会を与えるため、初等教育コース専門科目からコース共通科目へ変更。(26)
35	特別支援実践論Ⅲ	2	4・前	専門	選択	全コースの学生に履修機会を与えるため、初等教育コース専門科目からコース共通科目へ変更。(26)
36	音楽教育フィールド演習Ⅲ	2	4・前	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり新規科目を追加したことにより、時間割編成上の理由で削除。(26)
37	音楽教育フィールド演習Ⅳ	2	4・後	専門	選択	教員免許課程認定申請時に指摘があり新規科目を追加したことにより、時間割編成上の理由で削除。(26)

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員免許課程認定申請時の指摘により、多くの教職関係科目を各コースの必修科目として位置づけた。その結果、各コースの設置趣旨及び教職課程の科目構成の充実が図られ、コースの特色を前面に出すことができた。いずれも開設前に廃止が決定しており、授業運営に支障はなく、学生への周知も特に行っていない。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.14}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<教育文化学部 芸術学科>

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考					
				必	修	選	択	自	由	教	授			准教授	講	師	助
全学 共通科目	導入 科目	基礎教育セミナーⅠ	1前	1				5	5								
		基礎教育セミナーⅡ	1後	1				5	5								
	基礎 科目	日本語表現	1前	1				1								兼7	時間割編成上のため担当教員変更(27) 時間割編成上のため担当教員変更(26)
		数学入門	1後	1					1							兼7	
		情報機器操作Ⅰ	1前	2												兼1	
		情報機器操作Ⅱ	1後	2				4								兼1	
		健康体育(実技を含む)	2前		2											兼3	
		英語コミュニケーションⅠ	1前	2												兼1	
	外国 語科 目	英語コミュニケーションⅡ	1後		2											兼1	クラス編成に伴う担当教員削除(27) 少人数教育実施のため担当教員追加(26) クラス編成に伴う担当教員削除(27) 少人数教育実施のため担当教員追加(26)
		英語(中級)	2前		2											兼3 兼4 兼3	
		英語(上級)	2後		2											兼3 兼4 兼3	
		韓国語	2前		2											兼2	
		中国語	2前		2											兼1	
		ドイツ語	2前		2											兼1	
		フランス語	2前		2											兼1	
		スペイン語	2前		2											兼1	
	教養 科目	現代生活と政治・経済	2前		2											兼2	
		現代生活と法律	2前		2											兼1	
		現代生活と福祉	2前		2											兼1	
		現代生活と芸術	2前		2											兼2	
		現代生活と教育	2前		2											兼1	
		現代生活と心と体	2前		2											兼1	
		現代生活と物理	2後		2				1							兼1	
		現代生活と宇宙	2後		2											兼1	
		現代生活と環境科学	2後		2											兼1	
		北海道の文化	2後		2											兼1	
		日本国憲法	2後		2											兼1	
		情報社会及び情報倫理	2後		2											兼1	
		情報処理(中級)	3前		2				1							兼1	
	情報処理(上級)	3後		2				1									
	就業 力 養 成 科 目	キャリアデザインⅠ	1前	1												兼1	展開方法変更に伴う担当教員追加(26) 展開方法変更に伴う担当教員追加(26) 展開方法変更に伴う担当教員追加(26) キャリア支援センター長担当科目のため 担当教員削除(26)
		キャリアデザインⅡ	1後	2					1							兼7 兼3	
		キャリアデザインⅢ	2前	2					1							兼7 兼3	
		キャリア演習Ⅰ	3前	1					1							兼5 兼2	
		キャリア演習Ⅱ	3後	1												兼1	
		キャリア演習Ⅲ	4前		1											兼1	
		キャリア演習Ⅳ	4後		1				4							兼1	
		就業力特別講義Ⅰ	2後	1					1							兼7	
		就業力特別講義Ⅱ	3前	1				1								兼1	
インターンシップ		2・3後		2											兼1		
小計(40科目)		—	19	50	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	兼53 兼52 兼45		
外国人 留 学 生 科 目	日本語	1前		2											兼1		
	現代日本の文化	1後		2											兼1		
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2		

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
発展科目	関心 する 身・健康に 関する 科目群	食生活と健康	1前		2							兼1			
		スポーツ施設管理論	4前		2							兼1			
		心理学概論	1前		2							兼1			
		心理統計法	2前		2							兼1			
		生涯発達心理学	1前		2							兼1			
		人間関係の心理学	1後		2							兼1			
		育児支援の心理学	2前		2							兼1			
		福祉心理学	1後		2							兼1			
		犯罪心理学	2後		2							兼1			
		社会と生活に 関する 科目群	社会学	1前		2								兼1	
	社会保障論Ⅰ		3前		2							兼1			
	地域福祉論Ⅰ		3前		2							兼1			
	生活の中の介護福祉		2前		2							兼1			
	高齢社会の街づくり		3後		2							兼1			
	社会教育概論		3後		2							兼1			
	社会教育計画		4前		2							兼1			
	社会教育課題研究		4前		2							兼1			
	社会教育課題演習		4後		2							兼1			
	社会教育施設論		4前		2							兼1			
	文化と芸術 に関する 科目群	音楽概論	1後		2							兼1	展開方法変更に伴う担当教員削除(27)		
		音楽鑑賞法	2前		2							兼1			
		音楽史	2後		2							兼3 兼4			
			小計(22科目)	—	0	44	0	0	0	0	0	0	兼21		
学部 共通科目	学 部 共 通 科 目	教育文化学	1前		2		2 +					兼2 兼3	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(27)		
		芸術と心理学	1後		2							兼1			
		生涯学習論	2前		2							兼1			
		生涯学習展開論	2後		2							兼1			
		メディアデザイン概論	1前		2			2							
		カウンセリング心理学	2後		2							兼1			
		青少年学習コーチング論	3前		2							兼1			
		リカレント教育論	4前		2							兼1			
		小計(8科目)	—	0	16	0	2 +	2	0	0	0	兼6 兼7			
学科 専門科目	芸術 理解	美術概論	1後		2		1	1							
		美術史	2後		2							兼1			
		美学	3前		2							兼1			
		色彩計画	2前		2							兼1			
		ファッションデザイン概論	1前		2			2							
		舞台芸術概論	1前		2		1					兼2			
		空間デザイン史	2前		2							兼1			
		基本 科目	ドローイングⅠ	1前		2		1							
	空間デザイン基礎		1前		2		1								
	服飾基礎実習		1前		2			1							
	クリエイティブシンキング		1後		2			1							
	インテリアデザイン		1後		2		1								
	ユニバーサルデザイン		1後		2		1								
	テクニカルスケッチ		2前		2		2					兼1			
	情報 技術		デジタルイメージⅠ	1前	2				1						
		デジタルデザインⅠ	1前	2				1							
		ウェブデザインⅠ	2前		2			1							
		CAD設計	2後		2		1								
		プログラミングによるCG	3後		2			1							
		専門 科目	アート教育・文化	生涯学習と芸術	3前		2						兼1		兼任講師辞退に伴う担当教員削除(26)
			学校教育と芸術	3後		2			1				兼2		
	博物館概論		1後		2							兼1 兼2			
	博物館経営論		2前		2							兼1 兼2			
												退職のため担当教員削除(26)			

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						備 考		
				必	修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
学科専門科目	アート 教育・文化	博物館資料論	2後		2									兼1	教育効果を考慮し、配当年次を4年次に変更(27)
		博物館資料保存論	3前		2									兼1	
		博物館展示論	3前		2									兼2	
		博物館情報・メディア論	3後		2									兼1	
		博物館教育論	3後		2									兼1	
		博物館実習	3通・4通		3		1							兼1	
		デザイン概論	2前		2									兼1	
		美術表現演習	2後		2		2	1							
		映像論	2前		2			1							
		写真	3前		2			1							
		ファッションコーディネート	2前		2			1							
		ファッション文化論	3後		2			2							
		マンガ表現研究	3前		2									兼1	
		舞台芸術各論	1後		2		1							兼2	
		戯曲研究	2前		2									兼1	
		生活材料学	2後		2									兼1	
		都市と空間の法規	4前		2									兼1	
		住宅と空間の生産	4後		2									兼1	
	平面表現	ドローイングⅡ	1後		2		1								教員免許課程認定申請に伴う担当教員 削除(26)
		絵画Ⅰ	1前		2		1								
		絵画Ⅱ	1後		2									兼1	
		絵画Ⅲ	2前		2									兼2	
		版画	3前		2									兼1	
		グラフィックデザインⅠ	1前		2									兼1	
		グラフィックデザインⅡ	1後		2			1						兼1 兼2	
		グラフィックデザインⅢ	2前		2									兼1	
		デジタルイメージⅡ	1後		2			1						兼1	
		デジタルイメージⅢ	2前		2										
		デジタルデザインⅡ	1後		2									兼1	
		デジタルデザインⅢ	2後		2									兼1	
		デジタルビデオ編集	2前		2			1						兼1	
		ウェブデザインⅡ	2後		2			1							
		ファッション画	1後		2			1							
		テキスタイルデザイン	1後		2			1							
		パターンメイキング	1前		2			1							
		インテリア設計Ⅰ	2前		2		1								
	立体表現	彫刻Ⅰ	1前		2		1								
		彫刻Ⅱ	1後		2		1								
		彫刻Ⅲ	2前		2									兼1	
		陶芸Ⅰ	2後		2									兼1	
		陶芸Ⅱ	3前		2									兼1	
		木材工芸	3前		2									兼1	
		舞台衣装Ⅰ	3前		2			2							
		舞台衣装Ⅱ	3後		2			2							
		服飾造形実習	2後		2			1							
		建築空間のしくみ	2前		2		1								
		空間模型演習	2後		2		1								
		創作テキスタイル	4前		2			1							
		3Dモーショングラフィックス	2後		2			1							
		3DグラフィックスⅠ	2後		2			1							
		3DグラフィックスⅡ	3前		2			1							
	空間・身体表現	サウンドデザイン	3前		2									兼1	教育効果を配慮し、配当年次を3年次に変更(26)
		トータルビューティ	3後 2後		2									兼1	
		バックステージ研究Ⅰ	3前		2		1							兼7	
		バックステージ研究Ⅱ	3後		2		1							兼7	

教育効果を考慮し、配当年次を4年次に変更(27)

教員免許課程認定申請に伴う担当教員削除(26)

教育効果を配慮し、配当年次を3年次に変更(26)

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
				必	修	選	択	自	由	教	授			准教授	講
学科専門科目	空間・ 身体表現	俳優論(演習を含む)	3前		2		1							兼1	
		舞踊専門研究	4前		2									兼1	
		リビングデザイン論	1前		2		1								
		住宅設計演習	2後		2		1								
		構造のかたちと力	3前		2		1								
		空間設備	3後		2		1								
		生活環境	4前		2		1								
		専門科目	3次元造形演習	3前		2		1	1						
	デジタルコンテンツ制作		4前		2									兼1	
	ブランディングデザイン論		3前		2									兼1	
	プレゼンテーションデザイン		2前		2			1							
	ディスプレイデザイン		3後		2									兼1	
	インテリア設計Ⅱ		3前		2									兼1	
	店舗デザイン		3後		2									兼1	
	舞台制作論		2後		2									兼1	
	演劇と映画		4後		2		1	1							
	ステージ総合実習		3後		2									兼1	
	応用実践科目	総合・統合	地域と芸術	3前		2		5	5						兼1
			ポートフォリオ制作Ⅰ	3後		1		5	5						
			ポートフォリオ制作Ⅱ	4前		1		5	5						
			就業力実践演習	4後		1		5	5						
			専門演習Ⅰ	3前	2			5	5					兼8	
			専門演習Ⅱ	3後	2			5	5					兼7	
			卒業研究	4通	4			5	5					兼7	
			小計(102科目)		—	12	192	0	5	5	0	0	0	兼44 兼43	
	合計(174科目)		—	31	306	0	5	5	0	0	0	兼105 兼99	—		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
19	155	0	174	19	155	0	174	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜教育文化学部 心理カウンセリング学科＞

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手	
全学 共通科目	導入科目	基礎教育セミナーⅠ	1前	1			3	4 3	1 2			担当教員昇任による変更(27)
		基礎教育セミナーⅡ	1後	1			3	4 3	1 2			担当教員昇任による変更(27)
	基礎科目	日本語表現	1前	1			1					兼7
		数学入門	1後	1								兼8
		情報機器操作Ⅰ	1前	2								兼1
		情報機器操作Ⅱ	1後	2								兼1
		健康体育(実技を含む)	2前		2							兼3
		英語コミュニケーションⅠ	1前	2								兼1
	外国語科目	英語コミュニケーションⅡ	1後		2							兼1
		英語(中級)	2前		2							兼3 兼4 兼3 兼3 兼4 兼3
		英語(上級)	2後		2							クラス編成に伴う担当教員削除(27) 少人数教育実施のため担当教員追加(26)
		韓国語	2前		2							兼2
		中国語	2前		2							兼1
		ドイツ語	2前		2							兼1
		フランス語	2前		2							兼1
		スペイン語	2前		2							兼1
	教養科目	現代生活と政治・経済	2前		2							兼2
		現代生活と法律	2前		2							兼1
		現代生活と福祉	2前		2							兼1
		現代生活と芸術	2前		2							兼2
		現代生活と教育	2前		2							兼1
		現代生活と心と体	2前		2							兼1
		現代生活と物理	2後		2							兼2
		現代生活と宇宙	2後		2							兼1
		現代生活と環境科学	2後		2							兼1
		北海道の文化	2後		2							兼1
		日本国憲法	2後		2							兼1
		情報社会及び情報倫理	2後		2							兼1
		情報処理(中級)	3前		2							兼2
		情報処理(上級)	3後		2							兼1
	就業力養成科目	キャリアデザインⅠ	1前	1								兼1
		キャリアデザインⅡ	1後	2			1					兼7
		キャリアデザインⅢ	2前	2				2 1	1			兼3 兼6 兼2
		キャリア演習Ⅰ	3前	1			1					展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
		キャリア演習Ⅱ	3後	1			1					展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
		キャリア演習Ⅲ	4前		1							兼5 兼2
		キャリア演習Ⅳ	4後		1		1					展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
		就業力特別講義Ⅰ	2後	1								兼1
		就業力特別講義Ⅱ	3前	1								キャリア支援センター長担当科目のため担当教員変更(26)
		インターンシップ	2・3後		2		1					兼1
	小計(40科目)		—	19	50	0	3	4 3	1 2	0	0	兼54 兼55 兼47
外国人 留学生 科目	日本語	1前		2								兼1
	現代日本の文化	1後		2								兼1
	小計(2科目)		—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
発展科目	心身・健康に関する科目群	食生活と健康	1前		2							兼1		
		スポーツ施設管理論	4前		2							兼1		
	関社会と生活に する科目群に	地域福祉論Ⅰ	3前		2							兼1		
		生活の中の介護福祉	2前		2							兼1		
		高齢社会の街づくり	3後		2							兼1		
		社会教育概論	3後		2							兼1		
		社会教育計画	4前		2							兼1		
		社会教育課題研究	4前		2							兼1		
		社会教育課題演習	4後		2							兼1		
		社会教育施設論	4前		2							兼1		
		関文化と芸術に する科目群に	ファッションデザイン概論	1前		2							兼2	
			インテリアデザイン	1後		2							兼1	
	ユニバーサルデザイン		1後		2							兼1		
	空間デザイン史		2前		2							兼1		
	美術史		2後		2							兼1		
	美学		3前		2							兼1		
	音楽概論		1後		2							兼1		
	音楽鑑賞法		2前		2							兼1		
	音楽史	2後		2							兼3 兼4	展開方法変更に伴う担当教員削除(27)		
	小計(19科目)		—	0	38	0	0	0	0	0	0	兼17 兼18	—	
学部 共通 科目	教育文化学	1前		2		1					兼3			
	芸術と心理学	1後		2			1							
	生涯学習論	2前		2							兼1			
	生涯学習展開論	2後		2							兼1			
	メディアデザイン概論	1前		2							兼2			
	カウンセリング心理学	2後		2		1								
	青少年学習コーチング論	3前		2							兼1			
	リカレント教育論	4前		2							兼1			
小計(8科目)		—	0	16	0	2	1	0	0	0	兼7	—		
学科 専門 科目	心理学概論	1前	2				1							
	学習心理学	1前		2							兼1			
	教育心理学	1前		2			1							
	生理心理学	1前		2							兼1			
	生涯発達心理学	1前		2			1							
	社会心理学	1後		2							兼1			
	人間関係の心理学	1後		2		1								
	乳幼児心理学	1後		2			1							
	福祉心理学	1後		2							兼1			
	労働法令	2前		2							兼1			
	育児支援の心理学	2前		2		1								
	高齢者心理学	2前		2							兼1			
	児童心理学	2前		2			1							
	青年心理学	2前		2			1							
	臨床心理学	2前	2				1							
	臨床教育学	2後		2			1							
	障害者心理学	2後		2		1								
	心身医学	2後		2		1								
	心理統計法	2前	2								兼1			
	心理アセスメント法	2前		2		1								
	心理学基礎演習Ⅰ	2前	1			3	4 3	1 2				担当教員昇任による変更(27)		
	心理学基礎演習Ⅱ	2後	1			3	4 3	1 2				担当教員昇任による変更(27)		
	心理学基礎実験	2後		4		1	1 2				兼1 兼2	兼担当教員の開講数調整のため削除(26) 准教授退職のため削除(26)		
	心理学研究法	2後	2				1							
	心理面接演習	3前		4		1	1				兼2			
	認知心理学	2後		2							兼2			
	脳と心の科学	2後		2							兼1			

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
学 科 専 門 科 目	犯罪心理学	2後		2			1					兼1
	こども理解	3前		2								
	ライフサイクルの心理学	3前		2		1						
	臨床心理援助技法論Ⅰ（精神分析療法）	3前		2		1						
	臨床心理援助技法論Ⅱ（認知行動療法）	3前		2			1					兼1
	臨床心理援助技法論Ⅲ（ブリーフ・セラピー）	3前		2			1					
	障害児教育論	3前		2		1						
	障害児教育実践論	3後		2								
	発達支援論	3後		2			1					兼1
	家族心理学	3後		2								
	産業・組織心理学	3後		2		1						
	コミュニケーション心理学	3後		2		1						
	スクールカウンセリング	3後		2			1					兼1
	ポジティブ心理学	3後		2		1	4					
	モチベーション心理学	4前		2								
	社会的養護論	4前		2								
	少年非行と矯正教育	4前		2								兼1
	キャリアカウンセリング	4前		2								
	高齢社会と生涯教育	4後		2								
	現代社会と臨床心理学	4後		2		2	3					
	対人コミュニケーション演習	4後		2		1						兼1
	医学概論	1前		2		1						
	医学知識	1後		2		1						
	社会学	1前		2								
	現代社会と福祉Ⅰ	4前		2								兼1
	現代社会と福祉Ⅱ	4後		2								
	地域福祉論Ⅱ	3後		2								
	社会保障論Ⅰ	3前		2								
	社会保障論Ⅱ	3後		2								兼1
	公的扶助論	2後		2								
	社会福祉行政・福祉計画論	4前		2								
	医療福祉論	3後		2				1				
	権利擁護と成年後見制度	3後		2								兼1
	障害者福祉論	2前		2								
	精神医学Ⅰ	2前		2		1						
	精神医学Ⅱ	2後		2		1						
	精神保健Ⅰ	3前		2		1						兼1
	精神保健Ⅱ	3後		2				1				
	ソーシャルワーク概説Ⅰ	2前		2								
	ソーシャルワーク概説Ⅱ	2後		2								
精神保健福祉援助技術総論	2前		2		4		1				担当教員の開講数調整のため担当教員 変更・削除(26) 担当教員昇任による変更(27)	
精神科リハビリテーション	3前		4			1	4					
精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	2後		2		4		1					
精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	3前		2		1							
精神保健福祉学Ⅰ	2前		2		1						担当教員の開講数調整のため担当教員変更(26)	
精神保健福祉学Ⅱ	2後		2			1	4					
精神保健福祉学Ⅲ	4後		2		1	1	1 2 4					
精神保健福祉援助演習Ⅰ	3後		2		4	1	4					
精神保健福祉援助演習Ⅱ	4前		2		1		4				兼1	
精神保健福祉援助演習Ⅲ	4後		2		1	1	4					
精神保健福祉援助実習指導	3後～4後通		3		1	1	1 2 4					
精神保健福祉援助実習	3後～4後通		7		1	1	1 2 4					
就業力特別演習	3前		1		3	4 3	1 2				担当教員昇任による変更(27)	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
学 科 専 門 科 目	就業力特別講義Ⅲ	3後		1		3	4 3	1 2				担当教員昇任による変更(27)
	就業力特別講義Ⅳ	4前		1		3	4 3	1 2				担当教員昇任による変更(27)
	専門演習Ⅰ	3前	2			3	4 3	1 2				担当教員昇任による変更(27)
	専門演習Ⅱ	3後	2			3	4 3	1 2				担当教員昇任による変更(27)
	卒業研究	4通	4			3	4 3	1 2				担当教員昇任による変更(27)
	小計(85科目)	—	18	161	0	5 4	4 3	1 2	0	0	兼23	—
合計(154科目)		—	37	269	0	5 4	4 3	1 2	0	0	兼85 兼87 兼81	—

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
23	131	0	154	23	131	0	154	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北翔大学短期大学部と 共用			
	校 舎 敷 地	0 m ²	82,343.00 m ²	0 m ²	82,343.00 m ²				
	運動場用地	0 m ²	41,311.00 m ²	0 m ²	41,311.00 m ²				
	小 計	0 m ²	123,654.00 m ²	0 m ²	123,654.00 m ²				
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	2,349.59 m ²	2,349.59 m ²				
	合 計	0 m ²	123,654.00 m ²	2,349.59 m ²	126,003.59 m ²				
(2) 校 舎	専 用	30,130.72 m ² 38,682.99 m² 33,947.77 m ² (30,130.72 m ²) (38,682.99 m²) (33,947.77 m ²)	35,908.38 m ² 21,408.05 m² 29,442.00 m ² (35,908.38 m ²) (21,408.05 m²) (29,442.00 m ²)	970.25 m ² 7,763.79 m² 4,465.06 m ² (970.25 m ²) (7,763.79 m²) (4,465.06 m ²)	67,009.35 m ² 67,854.83 m² 67,854.83 m ² (67,009.35 m ²) (67,854.83 m ²)	北翔大学短期大学部と 共用 校舎増改築のため(26) 専共用見直しのため (27)			
	共 用								
(3) 教 室 等	講 義 室	35 室 33 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 北翔大学短期大学部と 共用 校舎増改築のため(26) 演習室・実験実習室見 直しのため(27)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			教員増加の為(26) 教員増加の為(27)		
	教育文化学部 教育学科			23 25 27 室					
	教育文化学部 芸術学科			10 室					
	教育文化学部 心理カウンセリング学科			10 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	全学での共用分 ・図書 495,832〔17,785〕 201,049〔17,916〕 205,016〔18,132〕冊、 ・学術雑誌 3,106〔256〕 3,128〔256〕 3,154 〔256〕種、 ・電子ジャーナル 6,726 〔5,195〕 7,267〔5,571〕 7,048〔5,271〕種 ・視聴覚資料 9,468 9,686 9,852点 図書補充整備の為(26) 図書補充整備の為(27)	
	教育文化学部	3,007〔127〕 (301〔13〕) (2,016〔55〕) (2,670〔159〕)	300〔30〕 (30〔0〕) (123〔12〕) (106〔1〕)	0〔0〕 (0〔0〕) (1,649〔1,649〕) (2,833〔2,833〕)	480 (48) (191) (165)	(0) (0) (0)	0 (0) (0)		
	計	3,007〔127〕 (301〔13〕) (2,016〔55〕) (2,670〔159〕)	300〔30〕 (30〔0〕) (123〔12〕) (106〔1〕)	0〔0〕 (0〔0〕) (1,649〔1,649〕) (2,833〔2,833〕)	480 (48) (191) (165)	(0) (0) (0)	0 (0) (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体 北翔大学短期大学部と 共用 図書館書庫追加のため (27)	
	2,299.08 m ² 2,319.33 m ²		298 席		200,000 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					図書館書庫追加のため (27)	
	2,214.00 m ²		陸上競技場、テニスコート、野球場、多目的グラウンド、トレーニング室、バブルグラウンド						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 図書購入費には電子ジャーナル・データベースなどの整備費(運用コスト含む)を含む見直しによる修正(26) 見直しによる修正(27)
		教員 1 人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	0千円	23,713千円 26,149千円	23,713千円 26,149千円 25,625千円	
		共 同 研 究 費 等	2,930千円 10,380千円	2,930千円 10,380千円 9,610千円	設備購入費	0千円	86,370千円 24,630千円	86,370千円 24,630千円 18,870千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,410千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入、資産運用収入等を充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	北 翔 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
人間福祉学研究科 人間福祉学専攻	2年	4人		8人	修士 (人間福祉学)	0.25倍	平成13年度	江別市文京台23番地	
臨床心理学専攻	2年	6人		12人	修士 (臨床心理学)	1.00倍	平成15年度	同上	
生涯学習学研究科 生涯学習学専攻	2年	6人		12人	修士 (生涯学習学)	0.83倍	平成16年度	同上	
生涯スポーツ学研究科 生涯スポーツ学専攻	2年	6人		12人	修士 (スポーツ科学)	1.00倍	平成25年度	同上	
生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科	4年	160人	3年次 10人	660人	学士 (スポーツ教育学)	1.21倍	平成21年度	同上	
健康福祉学科	4年	60人	3年次 一人	120人	学士 (健康福祉学) (介護福祉学)	0.73倍	平成26年度	同上	平成26年度開設（届出）
教育文化学部 教育学科	4年	120人	3年次 一人	240人	学士 (教育学)	1.01倍	平成26年度	同上	平成26年度開設（届出）
芸術学科	4年	50人	3年次 一人	100人	学士 (芸術学)	0.68倍	平成26年度	同上	平成26年度開設（届出）
心理カウンセリング学科	4年	50人	3年次 一人	100人	学士 (心理カウンセリング学)	0.86倍	平成26年度	同上	平成26年度開設（届出）
人間福祉学部 地域福祉学科	4年	一人	3年次 5人	一人	学士 (社会福祉学) (介護福祉学)	一倍	平成 9年度	同上	平成25年度より学生募集停止
医療福祉学科	4年	一人	3年次 5人	一人	学士 (社会福祉学)	一倍	平成 9年度	同上	平成25年度より学生募集停止
福祉心理学科	4年	一人	3年次 5人	一人	学士 (臨床心理学) (福祉カウンセリング学) (養護実践学)	一倍	平成13年度	同上	平成25年度より学生募集停止
生涯学習システム学部 健康プランニング学科	4年	一人	3年次 一人	一人	学士 (生涯学習学)	一倍	平成12年度	同上	平成21年度より学生募集停止
芸術メディア学科	4年	一人	3年次 10人	一人	学士 (生涯学習学)	一倍	平成12年度	同上	平成25年度より学生募集停止
学習コーチング学科	4年	一人	3年次 15人	一人	学士 (生涯学習学)	一倍	平成18年度	同上	平成25年度より学生募集停止

大学 学 校 名 称	北 翔 大 学 短 期 大 学 部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
ライフデザイン学科	2年	50人	一人	100人	短期大学士 (ライフデザイン学)	0.52倍	平成15年度	江別市文京台23番地	
こども学科	2年	140人	一人	280人	短期大学士 (こども学)	1.05倍	平成17年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育文化学部 教育学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	浅尾 秀樹 (63)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 健康体育(実技を含む) 教育文化学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 体育科概論 体育科指導法Ⅰ 体育科指導法Ⅱ こどもの体育あそび 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実践演習	専任	教授	浅尾 秀樹 (64)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 健康体育(実技を含む) 教育文化学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 体育科概論 体育科指導法Ⅰ 体育科指導法Ⅱ こどもの体育あそび 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実践演習	
									体育科指導法Ⅲ	教員免許課程認定申請時の 指摘による科目の追加(26)
専任	教授	今野 洋子 (53)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 養護実践学Ⅰ 養護実践学Ⅱ 養護活動実習Ⅰ 養護活動実習Ⅱ 養護実践学演習 健康相談活動演習 養護実習事前指導 養護実習事後指導 養護実習 教職実践演習 (養護教諭) 学校ボランティア活動Ⅰ 学校ボランティア活動Ⅱ	専任	教授	今野 洋子 (54)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 養護実践学Ⅰ 養護実践学Ⅱ 養護活動実習Ⅰ 養護活動実習Ⅱ 養護実践学演習 健康相談活動演習 養護実習事前指導 養護実習事後指導 養護実習 教職実践演習 (養護教諭) 学校ボランティア活動Ⅰ 学校ボランティア活動Ⅱ	
									養護教諭基礎 セミナーⅠ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									養護教諭基礎 セミナーⅡ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									養護教諭教育演習Ⅰ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									養護教諭教育演習Ⅱ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									ヘルスアセスメント論	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									保健室経営演習Ⅰ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									保健室経営演習Ⅱ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	今野 洋子 (53)	平成26年4月		専任	教授	今野 洋子 (54)	平成26年4月	保健指導演習	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									健康診断演習	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									学校保健演習Ⅰ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									学校保健演習Ⅱ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									学校保健執務演習	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									養護教諭教育研究Ⅰ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									養護教諭教育研究Ⅲ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
専任	教授	岡元 真理子 (62)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	教授	岡元 真理子 (63)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				卒業研究					卒業研究	
				音楽実習Ⅰ					音楽実習Ⅰ	
				音楽実習Ⅱ					音楽実習Ⅱ	
				音楽科概論					音楽科概論	
				音楽科指導法Ⅰ					音楽科指導法Ⅰ	
				音楽科指導法Ⅱ					音楽科指導法Ⅱ	
				ソルフェージュ					ソルフェージュ	
				音楽史					音楽史	
				合唱Ⅰ					合唱Ⅰ	
				合唱Ⅱ					合唱Ⅱ	
専任	教授	神田 英治 (61)	平成26年4月	声楽基礎演習Ⅰ	専任	教授	神田 英治 (62)	平成26年4月	声楽基礎演習Ⅰ	
				声楽基礎演習Ⅱ					声楽基礎演習Ⅱ	
				声楽表現演習Ⅰ					声楽表現演習Ⅰ	
				声楽表現演習Ⅱ					声楽表現演習Ⅱ	
				音楽教育フィールド演習Ⅰ					音楽教育フィールド演習Ⅰ	
				音楽教育フィールド演習Ⅱ					音楽教育フィールド演習Ⅱ	
				音楽教育フィールド演習Ⅲ					音楽教育フィールド演習Ⅲ	時間割編成上のため科目削除(26)
				音楽教育フィールド演習Ⅳ					音楽教育フィールド演習Ⅳ	時間割編成上のため科目削除(26)
									音楽科指導法Ⅲ	教員免許課程認定申請時の 指摘による科目の追加(26)
専任	教授	神田 英治 (61)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	教授	神田 英治 (62)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	
				肢体不自由者の心理・生理・病理	兼任	准教授	和 史朗 (47)	平成26年10月	肢体不自由者の心理・生理・病理	
				病弱者の心理・生理・病理	専任	教授	皆川 公夫 (68)	平成26年4月	病弱者の心理・生理・病理	
				病弱教育	兼任	講師	小畑 文也 (58)	平成28年4月	病弱教育	
				特別支援教育実習事前指導					特別支援教育実習事前指導	
				特別支援教育実習事後指導					特別支援教育実習事後指導	
				特別支援教育実習					特別支援教育実習	
				専門演習Ⅰ	専任	教授	神田 英治 (62)	平成26年4月	専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				卒業研究					卒業研究	
				特別支援実践論Ⅱ					特別支援実践論Ⅱ	
専任	教授	神田 英治 (61)	平成26年4月	特別支援実践論Ⅲ					特別支援実践論Ⅲ	
				障害児保育					障害児保育	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	小杉 直美 (54)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 日本語表現 情報機器操作Ⅰ 情報機器操作Ⅱ 情報社会及び情報倫理 情報処理(中級) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 国語科概論(書写を含む)						
専任	教授	佐々木 邦子 (59)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅠ 生涯学習論 青少年学習コーチング論 リカレント教育論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 生徒指導論(進路指導を含む)(小)	専任	教授	佐々木 邦子 (60)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅠ 生涯学習論 青少年学習コーチング論 リカレント教育論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 生徒指導論(進路指導を含む)(小)	
									生徒指導論	教員免許課程認定申請時の 指摘による科目の追加(26)
専任	教授	佐々木 浩子 (52)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 現代生活と環境科学 キャリアデザインⅢ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 こどもの保健Ⅰa こどもの保健Ⅰb 衛生学 公衆衛生学	専任	教授	佐々木 浩子 (53)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 現代生活と環境科学 キャリアデザインⅢ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 こどもの保健Ⅰa こどもの保健Ⅰb 衛生学 公衆衛生学	
									衛生学実験	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									養護教諭基礎 セミナーⅠ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									養護教諭基礎 セミナーⅡ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									養護教諭教育演習Ⅰ	教育内容の充実を図るため 教員を追加(27)
									養護教諭教育演習Ⅱ	教育内容の充実を図るため 教員を追加(27)
専任	教授	佐藤 朱美 (58)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 学校保健 養護活動実習Ⅰ 養護活動実習Ⅱ 養護実践学演習 健康相談活動の理 論及び方法 健康相談活動演習 養護実習事前指導	専任	教授	佐藤 朱美 (59)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 学校保健 養護活動実習Ⅰ 養護活動実習Ⅱ 養護実践学演習 健康相談活動の理 論及び方法 健康相談活動演習 養護実習事前指導	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	佐藤 朱美 (58)	平成26年4月	養護実習事後指導 養護実習 教職実践演習(養護教諭) 学校ボランティア活動Ⅰ 学校ボランティア活動Ⅱ	専任	教授	佐藤 朱美 (59)	平成26年4月	養護実習事後指導 養護実習 教職実践演習(養護教諭) 学校ボランティア活動Ⅰ 学校ボランティア活動Ⅱ	
									養護教諭基礎セミナーⅠ	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									養護教諭基礎セミナーⅡ	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									養護教諭教育演習Ⅰ	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									養護教諭教育演習Ⅱ	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									ヘルスアセスメント論	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									学校保健管理論	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									学校保健組織活動論	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									学校保健執務演習	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									保健指導演習	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									健康診断演習	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									学校保健演習Ⅰ	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									学校保健演習Ⅱ	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
									養護教諭教育研究Ⅱ	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
専任	教授	島津 彰 (63)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ	専任	教授	島津 彰 (64)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ	
				知的障害教育Ⅰ	兼任	講師	青山 眞二 (59)	平成27年4月	知的障害教育Ⅰ	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
				知的障害教育Ⅱ					知的障害教育Ⅱ	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
				視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	兼任	教授	佐藤 至英 (56)	平成26年10月	視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
				視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法					視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
				特別支援教育実習事前指導 特別支援教育実習事後指導 特別支援教育実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 特別支援実践論Ⅰ	専任	教授	島津 彰 (64)	平成26年4月	特別支援教育実習事前指導 特別支援教育実習事後指導 特別支援教育実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 特別支援実践論Ⅰ	
専任	教授	菅原 克弘 (60)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ	専任	教授	菅原 克弘 (62)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ	クラス編成に伴う科目削除(27)
				専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 楽典 音楽概論	専任	教授	今井 敏勝 (60)	平成27年4月	専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 楽典 音楽概論	平成27年3月菅原教授自己都合により退職のため担当教員変更(27)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	菅原 克弘 (60)	平成26年4月	音楽史	専任	教授	菅原 克弘 (62)	平成26年4月	音楽史	展開方法変更に伴う担当教員削除(27)
				和声学	兼任	講師	菅原 克弘 (62)	平成27年4月	和声学	退職に伴う職名変更(27)
				指揮法 合奏Ⅰ 合奏Ⅱ 器楽基礎演習Ⅰ 器楽基礎演習Ⅱ 器楽表現演習Ⅰ 器楽表現演習Ⅱ	専任	教授	今井 敏勝 (60)	平成27年4月	指揮法 合奏Ⅰ 合奏Ⅱ 器楽基礎演習Ⅰ 器楽基礎演習Ⅱ 器楽表現演習Ⅰ 器楽表現演習Ⅱ	平成27年3月菅原教授自己都合により退職のため担当教員変更(27)
				音楽教育フィールド演習Ⅰ 音楽教育フィールド演習Ⅱ 音楽教育フィールド演習Ⅲ 音楽教育フィールド演習Ⅳ	専任	教授	菅原 克弘 (62)	平成26年4月	音楽教育フィールド演習Ⅰ 音楽教育フィールド演習Ⅱ 音楽教育フィールド演習Ⅲ 音楽教育フィールド演習Ⅳ	展開方法変更に伴う担当教員削除(27) 時間割編成上のため科目削除(26) 時間割編成上のため科目削除(26)
				教育実習事前指導 教育実習事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)	専任	教授	今井 敏勝 (60)	平成27年4月	教育実習事前指導 教育実習事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高) 音楽教育研究Ⅲ	平成27年3月菅原教授自己都合により退職のため担当教員変更(27)
					専任	教授	菅原 克弘 (62)	平成26年4月	音楽教育研究Ⅲ	教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
				基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 現代生活と芸術 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 音楽史 生涯学習音楽指導論 ピアノ応用 ピアノ基礎演習Ⅰ ピアノ基礎演習Ⅱ ピアノ表現演習Ⅰ ピアノ表現演習Ⅱ ピアノ総合演習Ⅰ ピアノ総合演習Ⅱ 音楽教育フィールド演習Ⅰ 音楽教育フィールド演習Ⅱ 音楽教育フィールド演習Ⅲ 音楽教育フィールド演習Ⅳ 教育実習事前指導 教育実習事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)	専任	教授	鈴木 しおり (61)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 現代生活と芸術 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 音楽史 生涯学習音楽指導論 ピアノ応用 ピアノ基礎演習Ⅰ ピアノ基礎演習Ⅱ ピアノ表現演習Ⅰ ピアノ表現演習Ⅱ ピアノ総合演習Ⅰ ピアノ総合演習Ⅱ 音楽教育フィールド演習Ⅰ 音楽教育フィールド演習Ⅱ 音楽教育フィールド演習Ⅲ 音楽教育フィールド演習Ⅳ 教育実習事前指導 教育実習事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高) 音楽教育研究Ⅱ	時間割編成上のため科目削除(26) 時間割編成上のため科目削除(26) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
専任	教授	高田 茂 (64)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅡ	専任	教授	中川 洋一 (60)	平成27年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅡ	平成27年3月高田教授任期満了により退職のため担当教員変更(27)
				教職概論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	専任	教授	中川 洋一 (60)	平成27年4月	教職概論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	高田 茂 (64)	平成26年4月	就業力特別演習Ⅰ	専任	教授	高田 茂 (65)	平成26年4月	就業力特別演習Ⅰ	時間割編成上のため科目削除(26) 平成27年3月高田教授任期満了により退職のため担当教員変更(27) 届出時の記入漏れのため訂正(26)
				教育方法論(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)	専任	教授	中川 洋一 (60)	平成27年4月	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)(幼・小)	
				教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	専任	教授	山下 由紀夫 (64)	平成28年10月	家庭支援論	
				家庭支援論	専任	教授	中川 洋一 (60)	平成27年4月	教職概論(幼・小)	
					専任	教授	高田 茂 (65)	平成26年4月	教職概論(幼・小)	
専任	教授	福田 信一 (62)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	教授	福田 信一 (63)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	
				日本語表現	専任	教授	西出 勉 (57)	平成27年4月	現代生活と教育	教育内容の充実を図るため担当教員変更(27)
				現代生活と教育	専任	教授	福田 信一 (63)	平成26年4月	専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 保育原理 教育実習事前指導(幼・小) 教育実習事後指導(幼・小) 教育実習Ⅰ(幼・小) 教育実習Ⅱ(幼・小)	
				専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 保育原理 教育実習事前指導(幼・小) 教育実習事後指導(幼・小) 教育実習Ⅰ(幼・小) 教育実習Ⅱ(幼・小)	専任	教授	中川 洋一 (60)	平成27年4月	社会科概論	教育内容の充実を図るため担当教員変更(27)
				社会科概論	専任	教授	福田 信一 (63)	平成26年10月	国語科指導法Ⅰ	
				国語科指導法Ⅰ	専任	教授	中川 洋一 (60)	平成27年4月	社会科指導法Ⅰ	教育内容の充実を図るため担当教員変更(27)
				社会科指導法Ⅰ	兼任	講師	菊地 達夫 (46)	平成26年10月	社会科指導法Ⅰ	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
				国語科指導法Ⅱ 道徳教育論(小)	専任	教授	福田 信一 (63)	平成26年4月	国語科指導法Ⅱ 道徳教育論(小)	
									国語科指導法Ⅲ	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
									教育課程論(幼・小)	届出時の記入漏れのため訂正(26)
				専任	教授	松村 憲治 (63)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	教授
基礎教育セミナーⅡ	基礎教育セミナーⅡ									
数学入門	数学入門									
就業力特別講義Ⅰ	就業力特別講義Ⅰ									
学校ボランティア活動Ⅰ	学校ボランティア活動Ⅰ									
学校ボランティア活動Ⅱ	学校ボランティア活動Ⅱ									
介護等体験	介護等体験									
専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ									
専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ									
卒業研究	卒業研究									
就業力特別演習Ⅱ	就業力特別演習Ⅱ									
就業力特別演習Ⅲ	就業力特別演習Ⅲ									
算数科概論	算数科概論									
教育課程論(幼・小)	教育課程論(幼・小)									
教育実習事前指導(幼・小)	教育実習事前指導(幼・小)									
教育実習事後指導(幼・小)	教育実習事後指導(幼・小)									
教育実習Ⅰ(幼・小)	教育実習Ⅰ(幼・小)									
教育実習Ⅱ(幼・小)	教育実習Ⅱ(幼・小)									
教職実践演習(幼・小)	教職実践演習(幼・小)									
算数科指導法Ⅰ	算数科指導法Ⅰ									
算数科指導法Ⅱ	算数科指導法Ⅱ									

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	松村 憲治 (63)	平成26年4月		専任	教授	松村 憲治 (65)	平成26年4月	小学校教育研究Ⅱ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									小学校教育研究Ⅲ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									算数科指導法Ⅲ	教員免許課程認定申請時の 指摘による科目の追加(26)
専任	教授	山谷 敬三郎 (62)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 教職概論 教育心理学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	専任	教授	山谷 敬三郎 (63)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 教職概論 教育心理学 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	
				学習コーチング学概論 教育相談論(カウ ンセリングを含 む) 小学校英語 相談援助					学習コーチング学概論 教育相談論(カウ ンセリングを含 む) 小学校英語 相談援助	
									教職概論(幼・小)	届出時の記入漏れのため訂正(26)
専任	准教授	木下 教子 (55)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 家庭科概論 家庭科指導法Ⅰ 家庭科指導法Ⅱ こどもの食と栄養	専任	准教授	木下 教子 (56)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 家庭科概論 家庭科指導法Ⅰ 家庭科指導法Ⅱ こどもの食と栄養	
									小学校教育研究Ⅰ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									家庭科指導法Ⅲ	教員免許課程認定申請時の 指摘による科目の追加(26)
専任	准教授	末次 弘明 (42)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 現代生活と芸術 キャリアデザインⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 造形美術概論 教育実習事前指導 (幼・小) 教育実習事後指導 (幼・小) 教育実習Ⅰ(幼・小) 教育実習Ⅱ(幼・小) 図画工作科指導法Ⅰ 図画工作科指導法Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実践演習	専任	准教授	山崎 正明 (58)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 現代生活と芸術 キャリアデザインⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 造形美術概論 教育実習事前指導 (幼・小) 教育実習事後指導 (幼・小) 教育実習Ⅰ(幼・小) 教育実習Ⅱ(幼・小) 図画工作科指導法Ⅰ 図画工作科指導法Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実践演習	平成26年3月末次弘明准教 授自己都合により退職のた め担当教員変更(26)
				保育内容指導(環境)			横山 光 (42)	平成26年4月	保育内容指導(環境)	平成26年3月末次弘明准教 授自己都合により退職のた め担当教員変更(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就 任 予 定 年 月	担 当 授 業 科 目 名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就 任 予 定 年 月	担 当 授 業 科 目 名	
専任	准教授	千葉 圭説 (46)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	准教授	千葉 圭説 (47)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	
				キャリア演習Ⅰ					キャリア演習Ⅰ	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				卒業研究					卒業研究	
				音楽鑑賞法					音楽鑑賞法	
				音楽史					音楽史	
				合奏Ⅰ					合奏Ⅰ	
				合奏Ⅱ					合奏Ⅱ	
				器楽基礎演習Ⅰ					器楽基礎演習Ⅰ	
				器楽基礎演習Ⅱ					器楽基礎演習Ⅱ	
				器楽表現演習Ⅰ					器楽表現演習Ⅰ	
				器楽表現演習Ⅱ					器楽表現演習Ⅱ	
				音楽教育フィールド演習Ⅰ					音楽教育フィールド演習Ⅰ	
				音楽教育フィールド演習Ⅱ					音楽教育フィールド演習Ⅱ	
				音楽教育フィールド演習Ⅲ					音楽教育フィールド演習Ⅲ	時間割編成上のため科目削除(26)
				音楽教育フィールド演習Ⅳ					音楽教育フィールド演習Ⅳ	時間割編成上のため科目削除(26)
									音楽教育研究Ⅰ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
専任	准教授	中山 雅茂 (39)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	准教授	横山 光 (42)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	平成25年9月中山雅茂准教授自己都合により退職のため担当教員変更(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	
				現代生活と宇宙					現代生活と宇宙	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				卒業研究					卒業研究	
				理科概論					理科概論	
				理科指導法Ⅰ					理科指導法Ⅰ	
				理科指導法Ⅱ					理科指導法Ⅱ	
				保育内容(環境)	専任	教授	山下 由紀夫 (64)	平成27年10月	保育内容(環境)	専任教員就任辞退により担当教員変更(27)
					専任	教授	咲間 まり子 (66)	平成27年4月	保育内容(環境)	平成25年9月中山雅茂准教授自己都合により退職のため担当教員変更(26)
専任	准教授	伏見 千悦子 (48)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	准教授	伏見 千悦子 (49)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	
				介護等体験					介護等体験	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				卒業研究					卒業研究	
				生活科概論					生活科概論	担当教員の開講数調整のため科目削除(26)
				保育内容(言葉)					保育内容(言葉)	
				保育内容(表現)					保育内容(表現)	
				教育実習事前指導(幼・小)					教育実習事前指導(幼・小)	
				教育実習事後指導(幼・小)					教育実習事後指導(幼・小)	
				教育実習Ⅰ(幼・小)					教育実習Ⅰ(幼・小)	
				教育実習Ⅱ(幼・小)					教育実習Ⅱ(幼・小)	
				教職実践演習(幼・小)					教職実践演習(幼・小)	
				こどもの表現あそび					こどもの表現あそび	
				こどもの言葉あそび					こどもの言葉あそび	
				保育内容指導(言葉)					保育内容指導(言葉)	
				保育内容指導(表現)					保育内容指導(表現)	
				保育実習Ⅰ					保育実習Ⅰ	
				保育実習Ⅱ					保育実習Ⅱ	
				保育実習Ⅲ					保育実習Ⅲ	
				保育実習指導Ⅰ					保育実習指導Ⅰ	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	伏見 千悦子 (48)	平成26年4月	保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実践演習 学校ボランティア活動Ⅰ 学校ボランティア活動Ⅱ	専任	准教授	伏見 千悦子 (49)	平成26年4月	保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実践演習 学校ボランティア活動Ⅰ 学校ボランティア活動Ⅱ	
									幼稚園教育研究Ⅰ	
専任	准教授	丸岡 里香 (52)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリア演習Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 こどもの保健Ⅱ 看護学概論	専任	准教授	丸岡 里香 (53)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリア演習Ⅲ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 こどもの保健Ⅱ 看護学概論	
専任	准教授	丸岡 里香 (52)	平成26年4月	看護技術演習（救急処置を含む）Ⅰ 看護技術演習（救急処置を含む）Ⅱ 看護学各論 看護学臨床実習	専任	准教授	丸岡 里香 (53)	平成26年4月	看護技術演習（救急処置を含む）Ⅰ 看護技術演習（救急処置を含む）Ⅱ 看護学各論 看護学臨床実習	
									養護教諭基礎セミナーⅠ	
									養護教諭基礎セミナーⅡ	
									看護学特別講義	
									救急処置活動論	
									養護教諭教育演習Ⅰ	
									養護教諭教育演習Ⅱ	
専任	教授	伊藤 政勝 (60)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 特別支援教育総論	専任	教授	伊藤 政勝 (61)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 特別支援教育総論	
				重複障害者の心理・生理・病理	専任	教授	皆川 公夫 (68)	平成26年4月	重複障害者の心理・生理・病理	
				重複障害者の教育課程及び指導法	兼任	講師	松田 直 (69)	平成28年10月	重複障害者の教育課程及び指導法	
				特別支援教育実習事前指導 特別支援教育実習事後指導 特別支援教育実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 特別支援学校論Ⅰ 特別支援学校論Ⅱ	専任	教授	伊藤 政勝 (61)	平成26年4月	特別支援教育実習事前指導 特別支援教育実習事後指導 特別支援教育実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 特別支援学校論Ⅰ 特別支援学校論Ⅱ	
専任	教授	咲間 まり子 (65)	平成27年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	教授	咲間 まり子 (66)	平成27年4月	基礎教育セミナーⅠ	教員免許課程認定申請時の指摘による担当科目の変更(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	教員免許課程認定申請時の指摘による担当科目の変更(26)
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	教員免許課程認定申請時の指摘による担当科目の変更(26)
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	教員免許課程認定申請時の指摘による担当科目の変更(26)
				卒業研究					卒業研究	教員免許課程認定申請時の指摘による担当科目の変更(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	咲間 まり子 (65)	平成27年4月	生活科概論	専任	教授	山下 由紀夫 (64)	平成27年4月	生活科概論	専任教員就任辞退により担 当教員変更(27)
				教育相談論(カウ ンセリングを含 む)(幼・小)	専任	教授	山谷 敬三郎	平成28年4月	教育相談論(カウ ンセリングを含 む)(幼・小)	専任教員就任辞退により担 当教員変更(27)
				保育内容指導論	専任	教授	咲間 まり子 (66)	平成27年4月	教育相談論(カウ ンセリングを含 む)(幼・小)	
					専任	教授	山下 由紀夫 (64)	平成27年4月	保育内容指導論	専任教員就任辞退により担 当教員変更(27)
									保育内容(言葉)	
									保育原理	
					兼任	講師	咲間 まり子	平成26年4月	保育内容(言葉)	教育内容の充実を図るため 教員を追加(26)
専任	教授	西出 勉 (56)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	専任	教授	西出 勉 (57)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	
				保育内容(環境)					保育内容(環境)	届出時の誤記入のため削除(26)
				教育方法論(情報機 器・教材活用を含 む)(幼・小)					教育方法論(情報機 器・教材活用を含 む)(幼・小)	
				教育方法論(情報機 器・教材活用を含 む)					教育方法論(情報機 器・教材活用を含 む)	
				生活科指導法Ⅰ 生活科指導法Ⅱ					生活科指導法Ⅰ 生活科指導法Ⅱ	
									生活科指導法Ⅲ	教員免許課程認定申請時の 指摘による科目の追加(26)
									幼稚園教育研究Ⅱ	教員免許課程認定申請時の 教育課程充実の指摘による 科目の追加(26)
									保育内容指導(環境)	教育内容の充実を図るため 教員を追加(26)
									生活科概論	教育内容の充実を図るため 教員を追加(27)
				生徒指導論(進路 指導を含む)	専任	教授	佐々木 邦子 (60)	平成26年4月	生徒指導論(進路 指導を含む)	教員免許課程認定申請時の 指摘による担当教員の変更 (26)
兼任	准教授	山本 麻由美 (36)	平成26年4月	日本語表現 社会保障論Ⅰ	兼任	准教授	山本 麻由美 (37)	平成26年4月	日本語表現 社会保障論Ⅰ	
									キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	教授	村松 幹男 (53)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	教授	小坂 守孝 (47)	平成26年4月	日本語表現 キャリア演習Ⅰ	兼任	教授	小坂 守孝 (48)	平成26年4月	日本語表現 キャリア演習Ⅰ	
				キャリア演習Ⅱ					キャリア演習Ⅱ	キャリア支援センター長担 当科目のため担当教員変更 (26)
				キャリア演習Ⅳ	兼任	教授	佐藤 至英 (56)	平成26年10月	キャリア演習Ⅳ	キャリア支援センター長担 当科目のため担当教員変更 (26)
				インターンシップ					インターンシップ	キャリア支援センター長担 当科目のため担当教員変更 (26)
				人間関係の心理学 カウンセリング心理学	兼任	教授	小坂 守孝 (48)	平成26年4月	人間関係の心理学 カウンセリング心理学	
兼任	講師	小原 信夫 (66)	平成26年4月	日本語表現						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	石原 深雪 (36)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	講師	前川 公美夫 (65)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	准教授	松澤 衛 (47)	平成26年4月	数学入門 現代生活と物理 情報処理（中級） 情報処理（上級） 就業力特別講義Ⅰ メディアデザイン概論						
兼任	教授	水野 信太郎 (58)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ スポーツ施設管理論 空間デザイン史	兼任	教授	水野 信太郎 (59)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ スポーツ施設管理論 空間デザイン史	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	澤田 一義 (63)	平成26年4月		兼任	准教授	千葉 直樹 (41)	平成27年4月	数学入門	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
					兼任	講師	今野 聖士 (33)	平成27年4月	現代生活と政治・経済	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
					兼任	准教授	千葉 直樹 (41)	平成27年4月	就業力特別講義Ⅰ	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
									キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリア演習Ⅰ	
兼任	教授	澤田 一義 (63)	平成26年4月	数学入門 現代生活と政治・経済 就業力特別講義Ⅰ	兼任	教授	澤田 一義 (64)	平成26年10月	数学入門 現代生活と政治・経済 就業力特別講義Ⅰ	届出時の誤記入のため訂正(26)
									キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
									キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
									キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	教授	佐藤 克之 (59)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 高齢社会の街づくり	兼任	教授	佐藤 克之 (60)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 高齢社会の街づくり	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	佐々木 雅史 (61)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	兼任	講師	佐々木 雅史 (62)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	菊池 隆夫 (66)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 就業力特別講義Ⅱ	兼任	講師	菊池 隆夫 (68)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 就業力特別講義Ⅱ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	西村 光弘 (70)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	兼任	講師	西村 光弘 (71)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	山崎 あずさ (46)	平成27年4月	健康体育（実技を含む）						
兼任	教授	畠山 孝子 (60)	平成27年4月	健康体育（実技を含む）						
兼任	講師	花井 篤子 (42)	平成27年4月	健康体育（実技を含む）	兼任	教授 准教授	花井 篤子 (42)	平成27年4月	健康体育（実技を含む）	昇任による職名変更(27) スポーツ教育学科専任教員に就任のため兼任・准教授に変更(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	千葉 直樹 (41)	平成27年4月	健康体育（実技を含む）						
兼任	講師	A. R. ライアン (39)	平成26年4月	英語コミュニケーションⅠ	兼任	講師	C. B. サイモンズ (53)	平成26年4月	英語コミュニケーションⅠ	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
				英語コミュニケーションⅡ					英語コミュニケーションⅡ	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
				英語（中級） 英語（上級）	兼任	講師	A. R. ライアン (40)	平成27年4月	英語（中級） 英語（上級）	展開方法変更に伴う担当教員削除(27)
					専任	講師	A. R. ライアン (40)	平成27年4月	英語（中級） 英語（上級）	担当科目変更による就任予定年月変更(26)
兼任	講師	S. R. ホガード (40)	平成27年4月	英語（中級） 英語（上級）						
兼任	講師	C. B. サイモンズ (53)	平成27年4月	英語（中級） 英語（上級）						
兼任	講師	田 光子 (55)	平成26年4月	韓国語 日本語						
兼任	講師	千 永柱 (42)	平成27年4月	韓国語						
兼任	講師	胡 躍華 (56)	平成27年4月	中国語						
兼任	講師	菊地 達夫 (45)	平成26年4月	ドイツ語 現代日本の文化	兼任	講師	菊地 達夫 (46)	平成26年10月	ドイツ語 現代日本の文化	届出時の誤記入のため訂正(26)
				社会科指導法Ⅱ	専任	教授	中川 洋一 (60)	平成28年4月	社会科指導法Ⅱ	教育内容の充実を図るため担当教員変更(27)
					専任	教授	中川 洋一 (60)	平成28年10月	社会科指導法Ⅲ	教育内容の充実を図るため担当教員変更(27)
					兼任	講師	菊地 達夫 (46)	平成26年10月	社会科指導法Ⅲ	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
兼任	講師	三浦 なつみ (38)	平成27年4月	フランス語						
兼任	講師	利根川 リリ (44)	平成27年4月	スペイン語	兼任	講師	田中 恵子 (55)	平成27年4月	スペイン語	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(26)
兼担	教授	相内 眞子 (67)	平成27年4月	現代生活と政治・経済	兼任	講師	相内 眞子 (67)	平成27年4月	現代生活と政治・経済	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	平澤 卓人 (32)	平成27年4月	現代生活と法律						
兼担	教授	林 恭裕 (63)	平成26年4月	現代生活と福祉 社会福祉	兼担	教授	林 恭裕 (64)	平成27年4月	現代生活と福祉 社会福祉	
									キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼担	准教授	杉岡 品子 (51)	平成27年4月	現代生活と心と体						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	小田 研 (56)	平成27年4月	現代生活と物理	兼任	講師	小田 研 (56)	平成27年10月	現代生活と物理	届出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	小田嶋 政子 (65)	平成26年4月	北海道の文化 食生活と健康						
兼任	講師	河森 計二 (41)	平成27年4月	日本国憲法	兼任	講師	河森 計二 (41)	平成27年10月	日本国憲法	届出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	准教授	浅井 貴也 (40)	平成26年4月	キャリアデザインⅡ メディアデザイン概論						
兼任	教授	今井 博康 (53)	平成26年4月	キャリアデザインⅡ	兼任	教授	今井 博康 (54)	平成26年10月	キャリアデザインⅡ	届出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	准教授	富田 玲子 (57)	平成26年4月	キャリアデザインⅢ ファッションデザイン概論						
兼任	講師	橋本 菊次郎 (43)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ						
兼任	准教授	川崎 直樹 (35)	平成26年4月	キャリアデザインⅢ 心理学概論	兼任	准教授	澤 聡一 (38)	平成26年4月	キャリアデザインⅢ 心理学概論	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26) 退職に伴う担当教員変更 (26)
兼任	准教授	森井 綾 (52)	平成28年4月	キャリア演習Ⅰ						
兼任	教授	小室 晴陽 (57)	平成28年4月	就業力特別講義Ⅱ						
兼任	教授	佐藤 至英 (55)	平成26年4月	心理統計法 福祉心理学 知的障害者の心理・生理・病理	兼任	教授	佐藤 至英 (56)	平成26年10月	心理統計法 福祉心理学 知的障害者の心理・生理・病理 特別支援教育総論	届出時の誤記入のため訂正 (26) 教育内容の充実を図るため 教員を追加 (26)
兼任	准教授	新川 貴紀 (36)	平成26年4月	生涯発達心理学						
兼任	教授	風間 雅江 (53)	平成26年4月	育児支援の心理学 教育文化学						
兼任	准教授	飯田 昭人 (40)	平成26年4月	犯罪心理学 芸術と心理学	兼任	准教授	飯田 昭人 (41)	平成26年10月	犯罪心理学 芸術と心理学	届出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	竹中 健 (48)	平成26年4月	社会学	兼任	講師	森下 義亜 (39)	平成26年4月	社会学	兼任講師辞退に伴う担当教員変更 (26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	尾形 良子 (51)	平成28年4月	地域福祉論Ⅰ						
兼任	准教授	本間 美幸 (58)	平成27年4月	生活の中の介護福祉	兼任	准教授	本間 美幸 (58)	平成26年10月	生活の中の介護福祉 キャリアデザインⅡ	担当科目変更による就任予定年月変更(26) 展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	講師	藤川 和信 (64)	平成28年4月	社会教育概論 社会教育計画	兼任	講師	藤川 和信 (63)	平成28年10月	社会教育概論 社会教育計画	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	宗本 和博 (65)	平成29年4月	社会教育課題研究						
兼任	教授	谷川 松芳 (66)	平成29年4月	社会教育課題演習	兼任	教授	谷川 松芳 (64)	平成29年10月	社会教育課題演習	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	大山 芳男 (68)	平成27年4月	社会教育施設論 生涯学習展開論	兼任	講師	大山 芳男 (68)	平成27年10月	社会教育施設論 生涯学習展開論	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	准教授	大信田 静子 (54)	平成26年4月	ファッションデザイン概論						
兼任	教授	千里 政文 (47)	平成26年4月	インテリアデザイン ユニバーサルデザイン	兼任	教授	千里 政文 (48)	平成26年10月	インテリアデザイン ユニバーサルデザイン	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	柴 勤 (61)	平成27年4月	美術史	兼任	講師	柴 勤 (61)	平成27年10月	美術史	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	北村 清彦 (60)	平成28年4月	美学						
兼任	教授	林 亨 (54)	平成26年4月	教育文化学						
兼任	講師	武邑 光裕 (59)	平成26年4月	教育文化学	兼任	教授	小室 晴陽 (56)	平成27年4月	教育文化学	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(27)
兼任	講師	伊藤 崇 (38)	平成26年4月	教育心理学	兼任	講師	伊藤 崇 (39)	平成26年10月	教育心理学	担当科目変更による就任予定年月変更(26) 教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
兼任	准教授	西村 貴之 (45)	平成29年4月	教育経営学	兼任	准教授	西村 貴之 (44)	平成26年10月	教育経営学	担当科目変更による就任予定年月変更(26) 教員免許課程認定申請時の指摘による科目の削除(26)
兼任	准教授	和 史朗 (47)	平成28年4月	肢体不自由教育Ⅰ 肢体不自由教育Ⅱ	兼任	准教授	和 史朗 (47)	平成26年10月	肢体不自由教育Ⅰ 肢体不自由教育Ⅱ 特別支援教育総論	担当科目変更による就任予定年月変更(26) 教育内容の充実を図るため教員を追加(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	瀧澤 聡 (51)	平成27年4月	発達障害者等の教育課程及び指導法	兼任	准教授	瀧澤 聡 (52)	平成26年10月	発達障害者等の教育課程及び指導法	担当科目変更による就任予定年月変更(26)
									特別支援教育総論	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
				発達障害者等の心理・生理・病理	兼任	講師	萩原 拓 (46)	平成27年10月	発達障害者等の心理・生理・病理	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
兼任	講師	舟橋 彰子 (62)	平成26年4月		専任	教授	山下 由紀夫 (64)	平成27年10月	保育内容総論 保育内容（人間関係）	専任教員就任辞退により担当教員変更(27)
				保育内容総論	兼任	講師	咲間 まり子 (66)	平成26年4月	保育内容総論	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
				保育内容（人間関係）	専任	教授		平成27年4月	保育内容（人間関係）	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
兼任	講師	武田 克江 (45)	平成26年4月	児童家庭福祉 保育課程論	兼任	講師	武田 克江 (46)	平成27年10月	児童家庭福祉 保育課程論	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	森山 正美 (68)	平成27年4月	保育内容（健康）	兼任	講師	三井 登 (46)	平成27年4月	保育内容（健康）	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
				保育内容指導（健康）	兼任	講師	森山 正美 (68)	平成28年4月	保育内容指導（健康）	担当科目変更による就任予定年月変更(26)
兼任	講師	吉田 耕一郎 (55)	平成28年4月	こども理解						
兼任	講師	高橋 さおり (34)	平成28年4月	道德教育論 教育課程論	兼任	講師	高橋 さおり (33)	平成27年4月	道德教育論	届出時の誤記入のため訂正(26)
									教育課程論	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
兼任	講師	諏江 康夫 (66)	平成27年4月	特別活動論	専任	教授	諏江 康夫 (66)	平成26年4月	特別活動論	平成26年4月専任教員就任のため職名、担当科目の追加(26)
									基礎教育セミナーⅠ	
									基礎教育セミナーⅡ	
									専門演習Ⅰ	
									専門演習Ⅱ	
									卒業研究	
									教育課程論	
兼任	講師	佐藤 義昭 (68)	平成27年4月	特別活動論(小)	兼任	講師	田山 修三 (66)	平成27年4月	特別活動論(小)	教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
兼任	講師	佐藤 恵美子 (63)	平成27年4月	社会的養護 社会的養護内容						
兼任	講師	舟橋 安幸 (66)	平成26年4月	保育者論 保育相談支援	兼任	講師	舟橋 安幸 (67)	平成26年10月	保育者論 保育相談支援	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	藤本 愉 (40)	平成28年4月	保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ 乳児保育	兼任	講師	藤本 愉 (39)	平成28年10月	保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ 乳児保育	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	近江 さつき (41)	平成28年4月	保育内容指導 (人間関係)						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	谷津 祐子 (43)	平成26年4月	作曲法	兼任 専任	講師 教授	菅原 克弘 (62)	平成27年10月 平成26年4月	作曲法	退職に伴う職名変更(27) 教員免許課程認定申請時の指摘による担当教員の変更(26)
兼任	講師	鷹木 真理子 (57)	平成26年4月	声楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	鷹木 真理子 (58)	平成26年4月	声楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽基礎演習Ⅱ					声楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽表現演習Ⅰ					声楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽表現演習Ⅱ					声楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	荊木 成子 (53)	平成26年4月	声楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	荊木 成子 (54)	平成26年4月	声楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽基礎演習Ⅱ					声楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽表現演習Ⅰ					声楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽表現演習Ⅱ					声楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	相川 智子 (61)	平成26年4月	声楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	相川 智子 (62)	平成26年4月	声楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽基礎演習Ⅱ					声楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽表現演習Ⅰ					声楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽表現演習Ⅱ					声楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	早坂 佳子 (36)	平成26年4月	声楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	早坂 佳子 (37)	平成26年4月	声楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽基礎演習Ⅱ					声楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽表現演習Ⅰ					声楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				声楽表現演習Ⅱ					声楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	八條 美奈子 (40)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	八條 美奈子 (41)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽基礎演習Ⅱ					器楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅰ					器楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅱ					器楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	岩崎 弘昌 (58)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	岩崎 弘昌 (59)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽基礎演習Ⅱ					器楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅰ					器楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅱ					器楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	白子 正樹 (31)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	白子 正樹 (32)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽基礎演習Ⅱ					器楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅰ					器楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅱ					器楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	坂口 聡 (52)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	坂口 聡 (53)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽基礎演習Ⅱ					器楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅰ					器楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅱ					器楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	永留 淳也 (48)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	永留 淳也 (49)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽基礎演習Ⅱ					器楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅰ					器楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅱ					器楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	島方 晴康 (53)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	島方 晴康 (54)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽基礎演習Ⅱ					器楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅰ					器楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅱ					器楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	中野 耕太郎 (27)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	中野 耕太郎 (28)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽基礎演習Ⅱ					器楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅰ					器楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅱ					器楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	真貝 裕司 (63)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	兼任	講師	真貝 裕司 (64)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽基礎演習Ⅱ					器楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅰ					器楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅱ					器楽表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	中山 いずみ (53)	平成26年4月	器楽基礎演習Ⅱ	兼任	講師	中山 いずみ (54)	平成26年10月	器楽基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				器楽表現演習Ⅰ					器楽表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	岡田 いづみ (60)	平成26年4月	ピアノ基礎演習Ⅰ	兼任	講師	岡田 いづみ (61)	平成26年4月	ピアノ基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ基礎演習Ⅱ					ピアノ基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ表現演習Ⅰ					ピアノ表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ表現演習Ⅱ					ピアノ表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	新堀 聡子 (34)	平成26年4月	ピアノ基礎演習Ⅰ	兼任	講師	新堀 聡子 (35)	平成26年4月	ピアノ基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ基礎演習Ⅱ					ピアノ基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ表現演習Ⅰ					ピアノ表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ表現演習Ⅱ					ピアノ表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	本間 あづさ (33)	平成26年4月	ピアノ基礎演習Ⅰ	兼任	講師	本間 あづさ (34)	平成26年4月	ピアノ基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ基礎演習Ⅱ					ピアノ基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ表現演習Ⅰ					ピアノ表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ表現演習Ⅱ					ピアノ表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
兼任	講師	真柄 睦子 (44)	平成26年4月	ピアノ基礎演習Ⅰ	兼任	講師	真柄 睦子 (45)	平成26年4月	ピアノ基礎演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ基礎演習Ⅱ					ピアノ基礎演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ表現演習Ⅰ					ピアノ表現演習Ⅰ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)
				ピアノ表現演習Ⅱ					ピアノ表現演習Ⅱ	教員免許課程認定申請に伴う教員の削除(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	南山 雅樹 (49)	平成28年4月	ピアノ総合演習Ⅰ ピアノ総合演習Ⅱ コードと即興						
兼任	講師	加藤 久美子 (58)	平成28年4月	ピアノ総合演習Ⅰ ピアノ総合演習Ⅱ	兼任	講師	加藤 久美子 (58)	平成28年10月	ピアノ総合演習Ⅰ ピアノ総合演習Ⅱ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	今井 敏勝 (60)	平成27年4月	音楽科教育法Ⅰ 音楽科教育法Ⅱ	専任	教授	今井 敏勝 (60)	平成27年4月	音楽科教育法Ⅰ 音楽科教育法Ⅱ	教育学科専任教員に就任のため職名変更(27)
兼任	講師	河本 洋一 (49)	平成28年4月	音楽科教育法Ⅲ						
兼任	講師	榎谷 隆男 (61)	平成28年4月	音楽科教育法Ⅳ	兼任	講師	榎谷 隆男 (60)	平成28年10月	音楽科教育法Ⅳ	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	土屋 律子 (63)	平成26年4月	栄養学(食品学を含む)	兼任	教授	土屋 律子 (64)	平成26年10月	栄養学(食品学を含む)	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	沖田 孝一 (51)	平成26年4月	解剖生理学	兼任	教授	沖田 孝一 (52)	平成26年10月	解剖生理学	届出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	中山 章 (47)	平成27年4月	薬理概論						
兼任	講師	吉田 繁 (45)	平成26年4月	微生物学(免疫学を含む)						
兼任	教授	武藤 福保 (57)	平成28年4月	精神保健						
兼任	講師	近藤 健一郎 (46)	平成26年4月	教育原理	兼任	講師	近藤 健一郎 (47)	平成26年4月	教育原理	
					兼任	講師	竹内 典彦 (57)	平成27年4月	英語(中級) 英語(上級)	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(27) 兼任講師辞退に伴う担当教員変更(27)
					兼任	講師	水谷 一郎 (67)	平成27年4月	英語(中級) 英語(上級)	少人数教育実施のため追加(26) 少人数教育実施のため追加(26)
					専任	准教授	山崎 正明 (58)	平成26年4月	図画工作科指導法Ⅲ 保育内容(表現) 幼稚園教育研究Ⅲ	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26) 教育内容の充実を図るため教員を追加(26) 教員免許課程認定申請時の教育課程充実の指摘による科目の追加(26)
					兼任	教授	粥川 道子 (62)	平成26年10月	キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
					兼任	准教授	黒澤 直子 (39)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
					専任	准教授	横山 光 (42)	平成26年4月	理科指導法Ⅲ	教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	准教授	杉岡 品子 (51)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
					兼任	教授	横山 眞太郎 (66)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
					兼任	准教授	吉田 修大 (40)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
					兼任	教授	北村 優明 (64)	平成28年4月	キャリアデザインⅠ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
					専任	教授	皆川 公夫 (68)	平成26年4月	特別支援教育総論	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
									知的障害者の心理・生理・病理	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
					兼任	講師	佐藤 忠道 (71)	平成26年10月	特別支援教育総論	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
					兼任	講師	細谷 一博 (42)	平成26年10月	特別支援教育総論	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
					兼任	講師	青山 眞二 (59)	平成27年4月	知的障害者の心理・生理・病理	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
					兼任	講師	五十嵐 康夫 (55)	平成27年4月	知的障害者の心理・生理・病理	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
					専任	講師	石塚 誠之 (35)	平成29年4月	知的障害教育Ⅱ 基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	教育内容の充実を図るため教員を追加(26) クラス編成に伴う科目追加(27)
					兼任	講師	高橋 義男 (66)	平成27年4月	肢体不自由者の心理・生理・病理	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
					兼任	講師	藤井 良江 (63)	平成27年4月	生活科指導法Ⅰ 生活科指導法Ⅱ 生活科指導法Ⅲ	教育内容の充実を図るため教員を追加(26) 教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
					兼任	講師	青池 美紀 (61)	平成27年10月	家庭科指導法Ⅰ 家庭科指導法Ⅱ 家庭科指導法Ⅲ	教育内容の充実を図るため教員を追加(26) 教員免許課程認定申請時の指摘による科目の追加(26)
					兼任	講師	田山 修三 (66)	平成27年4月	特別活動論	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
					兼任	講師	加藤 隆 (59)	平成28年4月	道徳教育論(小)	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
					兼任	講師	藤田 由美子 (47)	平成27年10月	保育内容(環境)	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)
					兼任	講師	本田 真大 (34)	平成28年4月	こども理解	教育内容の充実を図るため教員を追加(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	藤井 壽夫 (63)	平成27年10月	生徒指導論	教育内容の充実を図るため 教員を追加(26)
									生徒指導論(進路 指導を含む)	教育内容の充実を図るため 教員を追加(26)
					兼任	講師	鈴木 富士雄 (67)	平成28年4月	教育課程論	教育内容の充実を図るため 教員を追加(26)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成		年齢構成(前年度の状況)	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の 定める定年年 年齢	定年を延長 している教員 数	定年規定の定 める定年年 年齢	定年を延長 している教員 数
12	8	4	0	24	20	6	1	0	27	65	1	65	1
(19)	(6)	(0)	(0)	(25)	[8]	[△2]	[△3]	[0]	[3]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「一」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	中山 雅茂	自己都合による退職(26)
2	准教授	末次 正明	自己都合による退職(26)
3	教授	高田 茂	任期満了による退職(27)
4	教授	菅原 克弘	自己都合による退職(27)
5	教授	咲間 まり子	自己都合による就任辞退(27)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

高田教授、菅原教授の退職に伴い、それぞれ同分野で中川教授、今井教授を平成27年4月着任とした。また、咲間教授の就任辞退に伴い、同分野で山下教授を平成27年4月着任とした。
 高田教授の退職は開設前に決定しており、菅原教授の退職と咲間教授の就任辞退も平成26年度の早い時期に決定していたため、授業運営に支障はなく、学生への周知は特に行っていない。(27)
 中山准教授の辞任に伴い、同分野で横山准教授を平成26年4月着任とした。また、末次准教授の辞任に伴い、同分野で山崎准教授を平成26年4月着任とした。
 いずれも開設前に決定しており、授業運営に支障はなく、学生への周知も特に行っていない。(26)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育文化学部 芸術学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	小室 晴陽 (55)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 就業力特別講義Ⅱ 空間デザイン基礎 テクニカルスケッチ C A D設計 空間模型演習 リビングデザイン論 住宅設計演習 生活環境 地域と芸術 ポートフォリオ制作Ⅰ ポートフォリオ制作Ⅱ 就業力実践演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
専任	教授	千里 政文 (47)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ インテリアデザイン ユニバーサルデザイン インテリア設計Ⅰ 建築空間のしくみ 構造のかたちと力 空間設備 地域と芸術 ポートフォリオ制作Ⅰ ポートフォリオ制作Ⅱ 就業力実践演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
専任	教授	永野 光一 (59)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ ドローイングⅠ 美術表現演習 ドローイングⅡ 彫刻Ⅰ 彫刻Ⅱ 3次元造形演習 地域と芸術 ポートフォリオ制作Ⅰ ポートフォリオ制作Ⅱ 就業力実践演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	林 亨 (54)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 教育文化学 美術概論 テクニカルスケッチ 博物館実習 美術表現演習 絵画Ⅰ 地域と芸術 ポートフォリオ制作Ⅰ ポートフォリオ制作Ⅱ 就業力実践演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
専任	教授	村松 幹男 (53)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 日本語表現 舞台芸術概論 舞台芸術各論 バックステージ研究Ⅰ バックステージ研究Ⅱ 俳優論（演習を含む） 演劇と映画 地域と芸術 ポートフォリオ制作Ⅰ ポートフォリオ制作Ⅱ 就業力実践演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
専任	准教授	浅井 貴也 (40)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅡ メディアデザイン概論 クリエイティブシンキング デジタルイメージⅠ ウェブデザインⅠ デジタルイメージⅢ ウェブデザインⅡ プレゼンテーションデザイン 地域と芸術 ポートフォリオ制作Ⅰ ポートフォリオ制作Ⅱ 就業力実践演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	大信田 静子 (54)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ ファッションデザイン概論 ファッション文化論 テキスタイルデザイン 舞台衣装Ⅰ 舞台衣装Ⅱ	専任	准教授	大信田 静子 (55)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ ファッションデザイン概論 ファッション文化論 テキスタイルデザイン 舞台衣装Ⅰ 舞台衣装Ⅱ	
				服飾造形実習					服飾造形実習	
				創作テキスタイル 地域と芸術 ポートフォリオ制作Ⅰ ポートフォリオ制作Ⅱ 就業力実践演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究					創作テキスタイル 地域と芸術 ポートフォリオ制作Ⅰ ポートフォリオ制作Ⅱ 就業力実践演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	
専任	准教授	富田 玲子 (57)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅢ ファッションデザイン概論 服飾基礎実習 ファッションコーディネート ファッション文化論 パターンメイキング 舞台衣装Ⅰ 舞台衣装Ⅱ 地域と芸術 ポートフォリオ制作Ⅰ ポートフォリオ制作Ⅱ 就業力実践演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
専任	准教授	松澤 衛 (47)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 数学入門 現代生活と物理 情報処理（中級） 情報処理（上級） 就業力特別講義Ⅰ メディアデザイン概論 プログラミングによるCG 映像論 写真 3Dモーショングラフィックス 3DグラフィックスⅠ 3DグラフィックスⅡ 3次元造形演習 演劇と映画 地域と芸術						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	松澤 衛 (47)	平成26年4月	ポートフォリオ制作Ⅰ ポートフォリオ制作Ⅱ 就業力実践演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
専任	准教授	森井 綾 (50)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリア演習Ⅰ 美術概論 デジタルデザインⅠ 学校教育と芸術 美術表現演習 グラフィックデザインⅡ デジタルビデオ編集 ファッション画 地域と芸術 ポートフォリオ制作Ⅰ ポートフォリオ制作Ⅱ 就業力実践演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
兼任	教授	小杉 直美 (54)	平成26年4月	日本語表現	兼任	教授	小杉 直美 (55)	平成26年4月	日本語表現	
				情報機器操作Ⅰ	兼任	講師	伊藤 博晃 (32)	平成27年4月	情報機器操作Ⅰ	時間割編成上のため担当教員変更(27)
				情報機器操作Ⅱ	兼任	講師	伊藤 博晃 (32)	平成27年10月	情報機器操作Ⅱ	時間割編成上のため担当教員変更(27)
					専任	教授	村松 幹男 (54)	平成26年4月	情報機器操作Ⅱ	時間割編成上のため担当教員変更(26)
				情報社会及び情報倫理 情報処理(中級) 博物館情報・メディア論	兼任	教授	小杉 直美 (55)	平成26年4月	情報社会及び情報倫理 情報処理(中級) 博物館情報・メディア論	
兼任	准教授	山本 麻由美 (36)	平成26年4月	日本語表現 社会保障論Ⅰ	兼任	准教授	山本 麻由美 (37)	平成26年4月	日本語表現 社会保障論Ⅰ キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	教授	福田 信一 (62)	平成26年4月	日本語表現	兼任	教授	福田 信一 (63)	平成26年4月	日本語表現	
				現代生活と教育	兼任	教授	西出 勉 (57)	平成27年4月	現代生活と教育	教育内容の充実を図るため担当教員変更(27)
兼任	教授	小坂 守孝 (47)	平成26年4月	日本語表現 キャリア演習Ⅰ	兼任	教授	小坂 守孝 (48)	平成26年4月	日本語表現 キャリア演習Ⅰ	
				キャリア演習Ⅱ					キャリア支援センター長担当科目のため担当教員変更(26)	
				キャリア演習Ⅳ	兼任	教授	佐藤 至英 (56)	平成26年10月	キャリア演習Ⅳ	キャリア支援センター長担当科目のため担当教員変更(26)
				インターンシップ					キャリア支援センター長担当科目のため担当教員変更(26)	
				人間関係の心理学 カウンセリング心理学	兼任	教授	小坂 守孝 (48)	平成26年4月	人間関係の心理学 カウンセリング心理学	

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	小原 信夫 (66)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	講師	石原 深雪 (36)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	講師	前川 公美夫 (65)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	教授	松村 憲治 (63)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	兼任	教授	松村 憲治 (65)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	水野 信太郎 (58)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ スポーツ施設管理論 空間デザイン史	兼任	教授	水野 信太郎 (59)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ スポーツ施設管理論 空間デザイン史	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	澤田 一義 (63)	平成26年4月		兼任	准教授	千葉 直樹 (41)	平成27年4月	数学入門	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
					兼任	講師	今野 聖士 (33)	平成27年4月	現代生活と政治・経済	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
					兼任	准教授	千葉 直樹 (41)	平成27年4月	就業力特別講義Ⅰ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリア演習Ⅰ	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
				数学入門 現代生活と政治・経済 就業力特別講義Ⅰ	兼任	教授	澤田 一義 (64)	平成26年10月	数学入門 現代生活と政治・経済 就業力特別講義Ⅰ	届出時の誤記入のため訂正(26)
									キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
									キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
									キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	教授	佐藤 克之 (59)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 高齢社会の街づくり	兼任	教授	佐藤 克之 (60)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 高齢社会の街づくり	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	佐々木 雅史 (61)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	兼任	講師	佐々木 雅史 (62)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	菊池 隆夫 (66)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 就業力特別講義Ⅱ	兼任	講師	菊池 隆夫 (68)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 就業力特別講義Ⅱ	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	西村 光弘 (70)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	兼任	講師	西村 光弘 (71)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	畠山 孝子 (60)	平成27年4月	健康体育(実技を含む)						
兼任	講師	花井 篤子 (42)	平成27年4月	健康体育(実技を含む)	兼任	教授 准教授	花井 篤子 (42)	平成27年4月	健康体育(実技を含む)	昇任による職名変更(27) スポーツ教育学科専任教員 就任のため兼任・准教授へ 変更(26)
兼任	講師	千葉 直樹 (41)	平成27年4月	健康体育(実技を含む)	兼任	准教授	千葉 直樹 (41)	平成27年4月	健康体育(実技を含む)	スポーツ教育学科専任教員 就任のため兼任・准教授へ 変更(27)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	水谷 一郎 (66)	平成26年4月	英語コミュニケーションⅠ	兼任	講師	J. P. ライアン (42)	平成27年4月	英語コミュニケーションⅠ	兼任講師辞退に伴う担当教員変更 (27)
				英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	水谷 一郎 (67)	平成27年4月	英語コミュニケーションⅡ	兼任講師辞退に伴う担当教員変更 (27)
					兼任	講師	竹内 典彦 (57)	平成27年4月	英語 (中級) 英語 (上級)	兼任講師辞退に伴う担当教員変更 (27) 兼任講師辞退に伴う担当教員変更 (27)
					兼任	講師	水谷 一郎 (67)	平成27年4月	英語 (中級) 英語 (上級)	少人数教育実施のため担当教員追加 (26) 少人数教育実施のため担当教員追加 (26)
兼任	講師	S. R. ホガード (40)	平成27年4月	英語 (中級) 英語 (上級)						
兼任	講師	A. R. ライアン (40)	平成27年4月	英語 (中級) 英語 (上級)	兼任	講師	A. R. ライアン (40)	平成27年4月	英語 (中級) 英語 (上級)	展開方法変更に伴う担当教員削除 (27)
兼任	講師	C. B. サイモンズ (53)	平成27年4月	英語 (中級) 英語 (上級)						
兼任	講師	田 光子 (55)	平成26年4月	韓国語 日本語 バックステージ研究Ⅰ バックステージ研究Ⅱ 舞踊専門研究 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
兼任	講師	千 永柱 (42)	平成27年4月	韓国語						
兼任	講師	胡 躍華 (56)	平成27年4月	中国語						
兼任	講師	菊地 達夫 (45)	平成26年4月	ドイツ語 現代日本の文化	兼任	講師	菊地 達夫 (46)	平成26年10月	ドイツ語 現代日本の文化	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	三浦 なつみ (38)	平成27年4月	フランス語						
兼任	講師	利根川 リリ (44)	平成27年4月	スペイン語	兼任	講師	田中 恵子 (55)	平成27年4月	スペイン語	兼任講師辞退に伴う担当教員変更 (26)
兼任	教授	相内 眞子 (67)	平成27年4月	現代生活と政治・経済	兼任	講師	相内 眞子 (67)	平成27年4月	現代生活と政治・経済	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	平澤 卓人 (32)	平成27年4月	現代生活と法律						
兼任	教授	林 恭裕 (64)	平成27年4月	現代生活と福祉	兼任	教授	林 恭裕 (64)	平成27年4月	現代生活と福祉 キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	末次 弘明 (42)	平成26年4月	現代生活と芸術 キャリアデザインⅡ	兼任	准教授	山崎 正明 (58)	平成26年10月	現代生活と芸術 キャリアデザインⅡ	退職のため担当教員変更(26) 退職のため担当教員変更(26)
兼任	教授	鈴木 しおり (61)	平成27年4月	現代生活と芸術 音楽史						
兼任	准教授	杉岡 品子 (51)	平成27年4月	現代生活と心と体						
兼任	講師	小田 研 (56)	平成27年4月	現代生活と物理	兼任	講師	小田 研 (56)	平成27年10月	現代生活と物理	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	准教授	中山 雅茂 (40)	平成27年4月	博物館概論	兼任	准教授	中山 雅茂 (40)	平成27年4月	博物館概論	退職のため科目削除(26)
				博物館経営論	兼任	准教授	中山 雅茂 (40)	平成27年4月	博物館経営論	退職のため科目削除(26)
				現代生活と宇宙	兼任	准教授	横山 光 (42)	平成27年10月	現代生活と宇宙	退職に伴う担当教員変更(26)
				博物館実習	兼任	准教授	横山 光 (42)	平成27年10月	博物館実習	退職に伴う担当教員変更(26)
				博物館教育論	兼任	講師	中島 宏一 (51)	平成28年10月	博物館教育論	退職に伴う担当教員変更(26)
兼任	教授	佐々木 浩子 (53)	平成27年4月	現代生活と環境科学 キャリアデザインⅢ						
兼任	講師	小田嶋 政子 (65)	平成26年4月	北海道の文化 食生活と健康	兼任	講師	小田嶋 政子 (66)	平成26年4月	北海道の文化 食生活と健康	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	佐藤 静也 (69)	平成27年4月	日本国憲法	兼任	講師	佐藤 静也 (69)	平成27年10月	日本国憲法	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	佐々木 邦子 (59)	平成26年4月	キャリアデザインⅠ 生涯学習論 青少年学習コーチング論 リカレント教育論						
兼任	教授	高田 茂 (64)	平成26年4月	キャリアデザインⅡ	兼任	講師	石塚 誠之 (35)	平成27年10月	キャリアデザインⅡ	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
					兼任	教授	高田 茂 (65)	平成26年10月	キャリアデザインⅡ	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	今井 博康 (53)	平成26年4月	キャリアデザインⅡ	兼任	教授	今井 博康 (54)	平成26年10月	キャリアデザインⅡ	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	橋本 菊次郎 (43)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ						
兼任	准教授	川崎 直樹 (35)	平成26年4月	キャリアデザインⅢ	兼任	准教授	澤 聡一 (38)	平成26年4月	キャリアデザインⅢ	退職に伴う担当教員変更(26)
				心理学概論					心理学概論	退職に伴う担当教員変更(26)
兼任	准教授	千葉 圭説 (47)	平成27年4月	キャリア演習Ⅰ 音楽鑑賞法 音楽史						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	丸岡 里香 (55)	平成29年4月	キャリア演習Ⅲ						
兼任	教授	佐藤 至英 (55)	平成26年4月	心理統計法 福祉心理学	兼任	教授	佐藤 至英 (56)	平成26年10月	心理統計法 福祉心理学	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	准教授	新川 貴紀 (36)	平成26年4月	生涯発達心理学						
兼任	教授	風間 雅江 (53)	平成26年4月	育児支援の心理学 教育文化学						
兼任	准教授	飯田 昭人 (40)	平成26年4月	犯罪心理学 芸術と心理学	兼任	准教授	飯田 昭人 (41)	平成26年10月	犯罪心理学 芸術と心理学	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	竹中 健 (48)	平成26年4月	社会学	兼任	講師	森下 義亜 (39)	平成26年4月	社会学	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(26)
兼任	准教授	尾形 良子 (51)	平成28年4月	地域福祉論Ⅰ						
兼任	准教授	本間 美幸 (58)	平成27年4月	生活の中の介護福祉	兼任	准教授	本間 美幸 (58)	平成26年10月	生活の中の介護福祉 キャリアデザインⅡ	担当科目追加に伴い就任予定年月変更(26) 展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	講師	藤川 和信 (64)	平成28年4月	社会教育概論 社会教育計画	兼任	講師	藤川 和信 (63)	平成28年10月	社会教育概論 社会教育計画	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	宗本 和博 (65)	平成29年4月	社会教育課題研究						
兼任	教授	谷川 松芳 (66)	平成29年4月	社会教育課題演習	兼任	教授	谷川 松芳 (64)	平成29年10月	社会教育課題演習	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	大山 芳男 (68)	平成27年4月	社会教育施設論 生涯学習展開論	兼任	講師	大山 芳男 (68)	平成27年10月	社会教育施設論 生涯学習展開論	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	菅原 克弘 (60)	平成26年4月	音楽概論 音楽史	兼任	教授	今井 敏勝 (60)	平成27年10月	音楽概論	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
					兼任	教授	菅原 克弘 (61)	平成26年10月	音楽概論 音楽史	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	岡元 真理子 (63)	平成27年4月	音楽史	兼任	教授	岡元 真理子 (63)	平成27年10月	音楽史	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	浅尾 秀樹 (63)	平成26年4月	教育文化学						
兼任	講師	武邑 光裕 (59)	平成26年4月	教育文化学	専任	教授	小室 晴陽 (56)	平成27年4月	教育文化学	兼任講師辞退に伴う担当教員変更(27)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	柴 勤 (61)	平成27年4月	美術史 博物館概論 博物館経営論 博物館資料論 博物館展示論	兼任	講師	柴 勤 (61)	平成26年10月	美術史 博物館概論 博物館経営論 博物館資料論 博物館展示論	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	北村 清彦 (60)	平成28年4月	美学						
兼任	講師	小屋 亮子 (59)	平成27年4月	色彩計画						
兼任	講師	平井 伸之 (47)	平成26年4月	舞台芸術概論 バックステージ研究Ⅰ バックステージ研究Ⅱ 俳優論(演習を含む) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
兼任	講師	飯塚 優子 (65)	平成26年4月	舞台芸術概論 舞台芸術各論						
兼任	講師	浅川 泰 (65)	平成28年4月	生涯学習と芸術						
兼任	講師	大井 敏恭 (66)	平成28年4月	生涯学習と芸術	兼任	講師	大井 敏恭 (65)	平成28年4月	生涯学習と芸術	兼任講師辞退に伴う担当科目削除 (26)
兼任	講師	船木 ゆずか (47)	平成28年4月	学校教育と芸術	兼任	講師	船木 ゆずか (46)	平成28年10月	学校教育と芸術	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	佐藤 一志 (48)	平成28年4月	博物館資料保存論	兼任	講師	園部 真幸 (62)	平成28年4月	博物館資料保存論	兼任講師辞退に伴う担当教員変更 (26)
兼任	講師	細川 正道 (68)	平成28年4月	博物館展示論						
兼任	講師	勝田 信吾 (54)	平成27年4月	デザイン概論 テクニカルスケッチ						
兼任	講師	かじ さやか (51)	平成28年4月	マンガ表現研究						
兼任	講師	福田 恭一 (57)	平成26年4月	舞台芸術各論 バックステージ研究Ⅰ バックステージ研究Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	兼任	講師	福田 恭一 (58)	平成26年10月	舞台芸術各論 バックステージ研究Ⅰ バックステージ研究Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	イナダ ヒロシ (54)	平成27年4月	戯曲研究 舞台制作論						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	新貝 孝之 (52)	平成27年4月	生活材料学 住宅と空間の生産	兼任	講師	新貝 孝之 (52)	平成27年10月	生活材料学 住宅と空間の生産	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	村中 敬維 (59)	平成29年4月	都市と空間の法規						
兼任	講師	西田 陽二 (61)	平成26年4月	絵画Ⅱ	兼任	講師	西田 陽二 (62)	平成26年10月	絵画Ⅱ	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	八子 直子 (47)	平成27年4月	絵画Ⅲ						
兼任	講師	井桁 雅臣 (51)	平成27年4月	絵画Ⅲ						
兼任	講師	森迫 暁夫 (43)	平成28年4月	版画						
兼任	講師	澁谷 俊彦 (53)	平成26年4月	グラフィックデザインⅠ グラフィックデザインⅡ						
兼任	講師	菅原 愛 (31)	平成26年4月		兼任	講師	菅原 愛 (32)	平成26年10月		届出時就任予定年月誤記入 のため訂正 (26)
				グラフィックデザインⅡ					グラフィックデザインⅡ	教員免許課程認定申請に伴 う担当科目削除 (26)
				デジタルデザインⅡ					デジタルデザインⅡ	
兼任	講師	田 恩蘋 (39)	平成27年4月	グラフィックデザインⅢ ポートフォリオ制作Ⅱ						
兼任	講師	伊藤 隆介 (50)	平成26年4月	デジタルイメージⅡ デジタルビデオ編集	兼任	講師	伊藤 隆介 (51)	平成26年10月	デジタルイメージⅡ デジタルビデオ編集	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	川部 大輔 (41)	平成27年4月	デジタルデザインⅢ	兼任	講師	川部 大輔 (41)	平成27年10月	デジタルデザインⅢ	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	藤本 和彦 (49)	平成27年4月	彫刻Ⅲ 専門演習Ⅰ						
兼任	講師	對馬 賢二 (66)	平成27年4月	陶芸Ⅰ 陶芸Ⅱ	兼任	講師	對馬 賢二 (66)	平成27年10月	陶芸Ⅰ 陶芸Ⅱ	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	阿部 吉伸 (41)	平成28年4月	木材工芸						
兼任	講師	向山 千晴 (48)	平成28年4月	サウンドデザイン						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	中田 純子 (53)	平成27年4月	トータルビューティ	兼任	講師	中田 純子 (53)	平成28年10月	トータルビューティ	配当年次変更に伴い就任予定年月変更 (26)
兼任	講師	鈴木 静悟 (63)	平成28年4月	バックステージ研究Ⅰ バックステージ研究Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
兼任	講師	五ノ井 浩 (51)	平成28年4月	バックステージ研究Ⅰ バックステージ研究Ⅱ 専門演習Ⅰ	兼任	講師	五ノ井 浩 (50)	平成28年4月	バックステージ研究Ⅰ バックステージ研究Ⅱ	
				専門演習Ⅱ	兼任	講師	服部 正巳 (63)	平成28年4月	専門演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)
				卒業研究					専門演習Ⅱ	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)
									卒業研究	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)
兼任	講師	藤原 宏行 (46)	平成28年4月	バックステージ研究Ⅰ バックステージ研究Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
兼任	講師	吉田 ひでお (49)	平成28年4月	バックステージ研究Ⅰ バックステージ研究Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						
兼任	講師	真砂 雅喜 (38)	平成29年4月	デジタルコンテンツ制作						
兼任	講師	東村 有三 (67)	平成28年4月	ブランディングデザイン講						
兼任	講師	早坂 真梨子 (60)	平成28年4月	ディスプレイデザイン	兼任	講師	早坂 真梨子 (59)	平成28年10月	ディスプレイデザイン	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	杉山 宗英 (69)	平成28年4月	インテリア設計Ⅱ 店舗デザイン						
兼任	講師	坂 理 (69)	平成28年4月	ステージ総合演習	兼任	講師	坂 理 (68)	平成28年10月	ステージ総合実習	提出時の誤記入のため訂正 (26)
					兼任	教授	粥川 道子 (62)	平成26年10月	キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)
					兼任	准教授	黒澤 直子 (39)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)
					兼任	准教授	杉岡 品子 (51)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	兼任教員退職に伴う担当教員変更 (27)
					兼任	教授	横山 真太郎 (66)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)
					兼任	准教授	吉田 修大 (40)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	教授	北村 優明 (64)	平成28年4月	キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成		年齢構成(前年度の状況)	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
5 (5)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	5 [0]	5 [0]	0 [0]	0 [0]	10 [0]	65 歳	0 名	65 歳	0 名

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「一」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育文化学部 心理カウンセリング学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	今井 博康 (53)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅡ 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ	専任	教授	今井 博康 (54)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅡ 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ	
				精神保健福祉援助 技術総論	専任	講師	寺田 香 (51)	平成26年4月	精神保健福祉援助 技術総論	担当教員の開講数調整のため 担当教員変更(26)
				精神保健福祉援助 技術各論Ⅰ					精神保健福祉援助 技術各論Ⅰ	担当教員の開講数調整のため 担当教員変更(26)
				精神保健福祉援助 技術各論Ⅱ 精神保健福祉学Ⅰ 精神保健福祉学Ⅲ	専任	教授	今井 博康 (54)	平成26年4月	精神保健福祉援助 技術各論Ⅱ 精神保健福祉学Ⅰ 精神保健福祉学Ⅲ	
				精神保健福祉援助演習Ⅰ	専任	准教授 講師	橋本 菊次郎 (43)	平成26年4月	精神保健福祉援助演習Ⅰ	昇任による職名変更(27) 担当教員の開講数調整のため 担当教員変更(26)
				精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉援助演習Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習 就業力特別演習 就業力特別講義Ⅲ 就業力特別講義Ⅳ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	専任	教授	今井 博康 (54)	平成26年4月	精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉援助演習Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習 就業力特別演習 就業力特別講義Ⅲ 就業力特別講義Ⅳ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	
専任	教授	風間 雅江 (53)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 教育文化学 育児支援の心理学 障害者心理学 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎実験 ライフサイクルの心理学 障害児教育論 コミュニケーション心理学 現代社会と臨床心理学 対人コミュニケーション演習 就業力特別演習 就業力特別講義Ⅲ 就業力特別講義Ⅳ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	小坂 守孝 (47)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 日本語表現 キャリア演習Ⅰ	専任	教授	小坂 守孝 (48)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 日本語表現 キャリア演習Ⅰ	
				キャリア演習Ⅱ	兼任	教授	佐藤 至英 (56)	平成26年10月	キャリア演習Ⅱ	キャリア支援センター長担当科目のため担当教員変更(26)
				キャリア演習Ⅳ					キャリア演習Ⅳ	キャリア支援センター長担当科目のため担当教員変更(26)
				インターンシップ					インターンシップ	キャリア支援センター長担当科目のため担当教員変更(26)
				カウンセリング心理学 人間関係の心理学 心理アセスメント法 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理面接演習 臨床心理援助技法論Ⅰ(精神分析療法) 産業・組織心理学 現代社会と臨床心理学 就業力特別演習 就業力特別講義Ⅲ 就業力特別講義Ⅳ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	専任	教授	小坂 守孝 (48)	平成26年4月	カウンセリング心理学 人間関係の心理学 心理アセスメント法 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理面接演習 臨床心理援助技法論Ⅰ(精神分析療法) 産業・組織心理学 現代社会と臨床心理学 就業力特別演習 就業力特別講義Ⅲ 就業力特別講義Ⅳ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	
専任	教授	大宮司 信 (69)	平成26年4月	心身医学 医学概論 医学知識						
専任	教授	武藤 福保 (55)	平成26年4月	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 精神保健Ⅰ	専任	教授	武藤 福保 (56)	平成27年4月	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 精神保健Ⅰ	提出時の誤記入のため訂正(26)
専任	准教授	飯田 昭人 (40)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ 芸術と心理学 教育心理学 臨床心理学 臨床教育学 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理面接演習 犯罪心理学 現代社会と臨床心理学 就業力特別演習 就業力特別講義Ⅲ 就業力特別講義Ⅳ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	川崎 直樹 (35)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	准教授	澤 聡一 (38)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	平成26年3月川崎直樹准教授自己都合により退職のため担当教員変更(26)
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	
				キャリアデザインⅢ					キャリアデザインⅢ	
				心理学概論					心理学概論	
				青年心理学					青年心理学	
				心理学基礎演習Ⅰ					心理学基礎演習Ⅰ	
				心理学基礎演習Ⅱ					心理学基礎演習Ⅱ	
				心理学研究法					心理学研究法	
				臨床心理援助技法論Ⅱ(認知行動療法)					臨床心理援助技法論Ⅱ(認知行動療法)	
				現代社会と臨床心理学					現代社会と臨床心理学	
				就業力特別演習					就業力特別演習	
				就業力特別講義Ⅲ					就業力特別講義Ⅲ	
				就業力特別講義Ⅳ					就業力特別講義Ⅳ	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				卒業研究					卒業研究	
専任	准教授	川崎 直樹 (36)	平成26年4月	心理学基礎実験	専任	准教授	川崎 直樹 (36)	平成26年4月	心理学基礎実験	展開方法変更に伴う担当教員削除(27) 平成26年3月川崎直樹准教授自己都合により退職のため担当教員変更(26)
				ポジティブ心理学	専任	教授	風間 雅江 (54)	平成26年4月	ポジティブ心理学	平成26年3月川崎直樹准教授自己都合により退職のため担当教員変更(26)
専任	准教授	新川 貴紀 (36)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ						
				基礎教育セミナーⅡ						
				生涯発達心理学						
				乳幼児心理学						
				児童心理学						
				心理学基礎演習Ⅰ						
				心理学基礎演習Ⅱ						
				心理学基礎実験						
				臨床心理援助技法論Ⅲ(フリーフ・セラピー)						
				発達支援論						
				スクールカウンセリング						
				現代社会と臨床心理学						
				就業力特別演習						
				就業力特別講義Ⅲ						
				就業力特別講義Ⅳ						
				専門演習Ⅰ						
				専門演習Ⅱ						
				卒業研究						
専任	講師	寺田 香 (50)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	専任	講師	寺田 香 (51)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ	
				基礎教育セミナーⅡ					基礎教育セミナーⅡ	
				心理学基礎演習Ⅰ					心理学基礎演習Ⅰ	
				心理学基礎演習Ⅱ					心理学基礎演習Ⅱ	
				医療福祉論					医療福祉論	
				就業力特別演習					就業力特別演習	
				就業力特別講義Ⅲ					就業力特別講義Ⅲ	
				就業力特別講義Ⅳ					就業力特別講義Ⅳ	
				専門演習Ⅰ					専門演習Ⅰ	
				専門演習Ⅱ					専門演習Ⅱ	
				卒業研究					卒業研究	
									精神保健福祉学Ⅲ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
									精神保健福祉援助実習指導	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
									精神保健福祉援助実習	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	橋本 菊次郎 (42)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅢ 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 精神保健Ⅱ	専任	准教授 講師	橋本 菊次郎 (43)	平成26年4月	基礎教育セミナーⅠ 基礎教育セミナーⅡ キャリアデザインⅢ 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 精神保健Ⅱ	
				精神保健福祉援助 技術総論					精神保健福祉援助 技術総論	展開方法変更に伴う担当教員削除 (27) 担当教員の開講数調整のため担当教員変更 (26)
				精神科リハビリテーション 精神保健福祉学Ⅱ 精神保健福祉学Ⅲ 精神保健福祉援助演習Ⅲ 精神保健福祉援助 実習指導 精神保健福祉援助実習 就業力特別演習 就業力特別講義Ⅲ 就業力特別講義Ⅳ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究					精神科リハビリテーション 精神保健福祉学Ⅱ 精神保健福祉学Ⅲ 精神保健福祉援助演習Ⅲ 精神保健福祉援助 実習指導 精神保健福祉援助実習 就業力特別演習 就業力特別講義Ⅲ 就業力特別講義Ⅳ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	昇任による職名変更 (27)
兼任	教授	小杉 直美 (54)	平成26年4月	日本語表現 情報社会及び情報倫理 情報処理(中級)						
兼任	准教授	山本 麻由美 (36)	平成26年4月	日本語表現 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ	兼任	准教授	山本 麻由美 (37)	平成26年4月	日本語表現 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ	
									キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)
兼任	教授	福田 信一 (62)	平成26年4月	日本語表現 現代生活と教育	兼任	教授	福田 信一 (63)	平成26年4月	日本語表現	
					兼任	教授	西出 勉 (57)	平成27年4月	現代生活と教育	教育内容の充実を図るため 担当教員変更 (27)
兼任	教授	村松 幹男 (53)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	講師	小原 信夫 (66)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	講師	石原 深雪 (36)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	講師	前川 公美夫 (65)	平成26年4月	日本語表現						
兼任	准教授	松澤 衛 (47)	平成26年4月	数学入門 現代生活と物理 情報処理(中級) 情報処理(上級) 就業力特別講義Ⅰ メディアデザイン概論						
兼任	教授	松村 憲治 (63)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	兼任	教授	松村 憲治 (65)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	提出時の誤記入のため訂正 (26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	水野 信太郎 (58)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ スポーツ施設管理論 空間デザイン史	兼任	教授	水野 信太郎 (59)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ スポーツ施設管理論 空間デザイン史	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	教授	澤田 一義 (63)	平成26年4月		兼任	准教授	千葉 直樹 (41)	平成27年4月	数学入門	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
					兼任	講師	今野 聖士 (33)	平成27年4月	現代生活と政治・経済	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
					兼任	准教授	千葉 直樹 (41)	平成27年4月	就業力特別講義Ⅰ	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
									キャリアデザインⅡ	
									キャリアデザインⅢ	
									キャリア演習Ⅰ	
				数学入門 現代生活と政治・経済 就業力特別講義Ⅰ	兼任	教授	澤田 一義 (64)	平成26年10月	数学入門 現代生活と政治・経済 就業力特別講義Ⅰ	提出時の誤記入のため訂正(26)
									キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
									キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
									キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
兼任	教授	佐藤 克之 (59)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 高齢社会の街づくり	兼任	教授	佐藤 克之 (60)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 高齢社会の街づくり	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	佐々木 雅史 (61)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	兼任	講師	佐々木 雅史 (62)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	菊池 隆夫 (66)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 就業力特別講義Ⅱ	兼任	講師	菊池 隆夫 (68)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ 就業力特別講義Ⅱ	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	西村 光弘 (70)	平成26年4月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	兼任	講師	西村 光弘 (71)	平成26年10月	数学入門 就業力特別講義Ⅰ	提出時の誤記入のため訂正(26)
兼任	講師	伊藤 博晃 (31)	平成26年4月	情報機器操作Ⅰ 情報機器操作Ⅱ 心理学基礎実験 認知心理学						
兼任	教授	畠山 孝子 (60)	平成27年4月	健康体育(実技を含む)						
兼任	講師	花井 篤子 (42)	平成27年4月	健康体育(実技を含む)	兼任	教授	花井 篤子 (42)	平成27年4月	健康体育(実技を含む)	昇任による職名変更(27) スポーツ教育学科専任教員 就任のため兼任・准教授へ 変更(26)
兼任	講師	千葉 直樹 (41)	平成27年4月	健康体育(実技を含む)	兼任	准教授	千葉 直樹 (41)	平成27年4月	健康体育(実技を含む)	スポーツ教育学科専任教員 就任のため兼任・准教授へ 変更(27)
兼任	講師	S. R. ホガード (39)	平成26年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語(中級) 英語(上級)						
兼任	講師	A. R. ライアン (40)	平成27年4月	英語(中級) 英語(上級)	兼任	講師	A. R. ライアン (40)	平成27年4月	英語(中級) 英語(上級)	展開方法変更に伴う担当教員削除(27) 展開方法変更に伴う担当教員削除(27)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	C.B.サイモンズ (53)	平成27年4月	英語（中級） 英語（上級）						
兼任	講師	田 光子 (55)	平成26年4月	韓国語 日本語						
兼任	講師	千 永柱 (42)	平成27年4月	韓国語						
兼任	講師	胡 躍華 (56)	平成27年4月	中国語						
兼任	講師	菊地 達夫 (45)	平成26年4月	ドイツ語 現代日本の文化	兼任	講師	菊地 達夫 (46)	平成26年10月	ドイツ語 現代日本の文化	提出時の誤記入のため訂正（26）
兼任	講師	三浦 なつみ (38)	平成27年4月	フランス語						
兼任	講師	利根川 リリ (44)	平成27年4月	スペイン語	兼任	講師	田中 恵子 (55)	平成27年4月	スペイン語	兼任講師辞退に伴う担当教員変更（26）
兼任	教授	相内 眞子 (67)	平成27年4月	現代生活と政治・経済	兼任	講師	相内 眞子 (67)	平成27年4月	現代生活と政治・経済	提出時の誤記入のため訂正（26）
兼任	講師	平澤 卓人 (32)	平成27年4月	現代生活と法律						
兼任	教授	林 恭裕 (64)	平成27年4月	現代生活と福祉 現代社会と福祉Ⅰ 現代社会と福祉Ⅱ	兼任	教授	林 恭裕 (64)	平成27年4月	現代生活と福祉 現代社会と福祉Ⅰ 現代社会と福祉Ⅱ キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加（26）
兼任	准教授	末次 弘明 (42)	平成26年4月	現代生活と芸術 キャリアデザインⅡ	兼任	准教授	山崎 正明 (58)	平成26年10月	現代生活と芸術 キャリアデザインⅡ	退職に伴う担当教員変更（26） 退職に伴う担当教員変更（26）
兼任	教授	鈴木 しおり (61)	平成27年4月	現代生活と芸術 音楽史						
兼任	准教授	杉岡 品子 (51)	平成27年4月	現代生活と心と体						
兼任	講師	小田 研 (56)	平成27年4月	現代生活と物理	兼任	講師	小田 研 (56)	平成27年10月	現代生活と物理	提出時の誤記入のため訂正（26）
兼任	准教授	中山 雅茂 (40)	平成27年4月	現代生活と宇宙	兼任	准教授	横山 光 (42)	平成27年10月	現代生活と宇宙	提出時の誤記入のため訂正（26） 退職に伴う担当教員変更（26）
兼任	教授	佐々木 浩子 (53)	平成27年4月	現代生活と環境科学 キャリアデザインⅢ						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	小田嶋 政子 (65)	平成26年4月	北海道の文化 食生活と健康	兼任	講師	小田嶋 政子 (66)	平成26年4月	北海道の文化 食生活と健康	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	河森 計二 (41)	平成27年4月	日本国憲法	兼任	講師	河森 計二 (41)	平成27年10月	日本国憲法	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	教授	佐々木 邦子 (59)	平成26年4月	キャリアデザインⅠ 生涯学習論 青少年学習コーチング論 リカレント教育論						
兼任	准教授	浅井 貴也 (40)	平成26年4月	キャリアデザインⅡ メディアデザイン概論						
兼任	教授	高田 茂 (64)	平成26年4月	キャリアデザインⅡ	兼任	講師	石塚 誠之 (35)	平成27年10月	キャリアデザインⅡ	兼任教員退職に伴う担当教員変更 (27)
					兼任	教授	高田 茂 (65)	平成26年10月	キャリアデザインⅡ	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	准教授	富田 玲子 (57)	平成26年4月	キャリアデザインⅢ ファッションデザイン概論						
兼任	准教授	千葉 圭説 (47)	平成27年4月	キャリア演習Ⅰ 音楽鑑賞法 音楽史						
兼任	准教授	森井 綾 (52)	平成28年4月	キャリア演習Ⅰ						
兼任	准教授	丸岡 里香 (55)	平成29年4月	キャリア演習Ⅲ						
兼任	教授	小室 晴陽 (57)	平成28年4月	就業力特別講義Ⅱ						
兼任	准教授	尾形 良子 (51)	平成28年4月	地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ						
兼任	准教授	本間 美幸 (58)	平成27年4月	生活の中の介護福祉	兼任	准教授	本間 美幸 (58)	平成26年10月	生活の中の介護福祉	担当科目追加に伴い就任予定年月変更 (26)
						キャリアデザインⅡ			展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)	
兼任	講師	藤川 和信 (64)	平成28年4月	社会教育概論 社会教育計画	兼任	講師	藤川 和信 (63)	平成28年10月	社会教育概論 社会教育計画	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	宗本 和博 (65)	平成29年4月	社会教育課題研究						
兼任	教授	谷川 松芳 (66)	平成29年4月	社会教育課題演習	兼任	教授	谷川 松芳 (64)	平成29年10月	社会教育課題演習	提出時の誤記入のため訂正 (26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	大山 芳男 (68)	平成27年4月	社会教育施設論 生涯学習展開論	兼任	講師	大山 芳男 (68)	平成27年10月	社会教育施設論 生涯学習展開論	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	准教授	大信田 静子 (54)	平成26年4月	ファッションデザイン概論						
兼任	教授	千里 政文 (47)	平成26年4月	インテリアデザイン ユニバーサルデザイン	兼任	教授	千里 政文 (48)	平成26年10月	インテリアデザイン ユニバーサルデザイン	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	柴 勤 (61)	平成27年4月	美術史	兼任	講師	柴 勤 (61)	平成27年10月	美術史	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	北村 清彦 (60)	平成28年4月	美学						
兼任	教授	菅原 克弘 (60)	平成26年4月	音楽概論 音楽史	兼任	教授	今井 敏勝 (60)	平成27年10月	音楽概論	兼任教員退職に伴う担当教員変更 (27)
					兼任	教授	菅原 克弘 (61)	平成26年10月	音楽概論 音楽史	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	教授	岡元 真理子 (63)	平成27年4月	音楽史	兼任	教授	岡元 真理子 (63)	平成27年10月	音楽史	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	教授	浅尾 秀樹 (63)	平成26年4月	教育文化学						
兼任	教授	林 亨 (54)	平成26年4月	教育文化学						
兼任	講師	武邑 光裕 (59)	平成26年4月	教育文化学	兼任	教授	小室 晴陽 (56)	平成27年4月	教育文化学	兼任講師辞退に伴う担当教員変更 (27)
兼任	講師	山田 弘司 (53)	平成26年4月	学習心理学						
兼任	講師	山崎 圭子 (36)	平成26年4月	生理心理学 脳と心の科学						
兼任	講師	渡辺 舞 (39)	平成26年4月	社会心理学	兼任	講師	渡辺 舞 (40)	平成26年10月	社会心理学	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	教授	佐藤 至英 (55)	平成26年4月	福祉心理学 心理統計法	兼任	教授	佐藤 至英 (56)	平成26年10月	福祉心理学 心理統計法	提出時の誤記入のため訂正 (26)
				心理学基礎実験					心理学基礎実験	
				心理面接演習					心理面接演習	
				障害児教育実践論 モチベーション心理学 現代社会と臨床心理学					障害児教育実践論 モチベーション心理学 現代社会と臨床心理学	
兼任	講師	道幸 哲也 (67)	平成27年4月	労働法令						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	田辺 毅彦 (57)	平成27年4月	高齢者心理学						
兼任	講師	広瀬 慎一 (31)	平成28年4月	心理面接演習 家族心理学						
兼任	講師	阿部 純一 (68)	平成27年4月	認知心理学	兼任	講師	阿部 純一 (68)	平成27年10月	認知心理学	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	吉田 耕一郎 (55)	平成28年4月	こども理解						
兼任	講師	鎗木 康夫 (50)	平成29年4月	社会的養護論						
兼任	講師	高橋 卓 (63)	平成29年4月	少年非行と矯正教育						
兼任	講師	小笠原 岳洋 (41)	平成29年4月	キャリアカウンセリング						
兼任	講師	森口 真衣 (43)	平成29年4月	高齢社会と生涯教育	兼任	講師	森口 真衣 (41)	平成29年10月	高齢社会と生涯教育	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	竹中 健 (48)	平成26年4月	社会学	兼任	講師	森下 義亜 (39)	平成26年4月	社会学	兼任講師辞退に伴う担当教員変更 (26)
兼任	講師	伊藤 新一郎 (35)	平成27年4月	公的扶助論 社会福祉行政・福祉計画論	兼任	講師	伊藤 新一郎 (35)	平成27年10月	公的扶助論 社会福祉行政・福祉計画論	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	講師	鈴木 道代 (33)	平成28年4月	権利擁護と成年後見制度	兼任	講師	鈴木 道代 (32)	平成28年10月	権利擁護と成年後見制度	提出時の誤記入のため訂正 (26)
兼任	教授	梶 晴美 (54)	平成27年4月	障害者福祉論						
兼任	講師	若狭 重克 (50)	平成27年4月	ソーシャルワーク概説Ⅰ ソーシャルワーク概説Ⅱ						
兼任	講師	小嶋 健二 (43)	平成28年4月	精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ	兼任	講師	小嶋 健二 (41)	平成29年4月	精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ	担当科目減に伴い就任予定年月変更 (26) 展開方法変更に伴う担当教員削除 (27) 展開方法変更に伴う担当教員変更 (26)
					兼任	講師	竹内 典彦 (57)	平成27年4月	英語 (中級) 英語 (上級)	兼任講師辞退に伴う担当教員変更 (27) 兼任講師辞退に伴う担当教員変更 (27)
					兼任	講師	水谷 一郎 (66)	平成27年4月	英語 (中級) 英語 (上級)	少人数教育実施のため追加 (26) 少人数教育実施のため追加 (26)
					兼任	教授	粥川 道子 (62)	平成26年10月	キャリアデザインⅡ	展開方法変更に伴う担当教員追加 (26)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	准教授	黒澤 直子 (39)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
					専任	准教授	杉岡 品子 (51)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	兼任教員退職に伴う担当教員変更(27)
					兼任	教授	横山 眞太郎 (66)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
					兼任	准教授	吉田 修大 (40)	平成27年4月	キャリアデザインⅢ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)
					兼任	教授	北村 優明 (64)	平成28年4月	キャリア演習Ⅰ	展開方法変更に伴う担当教員追加(26)

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成		年齢構成(前年度の状況)	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
4 (5)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	9 (10)	5 [1]	3 [0]	2 [0]	0 [0]	10 [1]	65 歳	0 名	65 歳	0 名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「―」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	川崎 直樹	自己都合による退職(26)
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

川崎准教授の辞任に伴い、同分野で澤准教授を平成26年4月着任としたため、授業運営に支障はない。
これについては開設前に決定しており、学生への周知は特に行っていない。(26)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年5月)	届出設置のため該当なし (26)		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	募集要項のアドミッション・ポリシーに記載のある「可能な限り受け入れる(maximum)」との表現については適切な入学者選抜が行われていない印象を与える可能性があるため早急に文言の修正を行うこと。また、社会人に関して特別選抜のため定員よりも多く入学させても説明がつくとの考えは、自ら定めた定員であるにもかかわらずそれに基づく定員管理を行う意識がないと判断せざるをえない対応であり、大学院設置基準第10条第3項を満たしているとは言い難い。同規定の趣旨を踏まえ、適切な定員管理を行うこと。また、入学定員の変更をする場合は、教育研究にふさわしい教員組織、施設等の環境を確保するとともに、学生確保の見通しや社会的需要について調査の上、適切な入学定員とすること。(生涯スポーツ学研究科)	是正意見	募集要項において、これまでアドミッション・ポリシーの項に記載されていた「可能な限り受け入れる(maximum)」の表現を削除し、平成28年度入学者選抜試験募集要項からは、アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)として、「運動やスポーツ、健康に関する学術研究や科学的知識および専門的技能の修得に高い関心と熱意をもった人材を求めます。生涯にわたるスポーツ活動の推進や健康の維持・増進、生涯スポーツの振興、指導者養成に対し、指導的な役割を担える人材を受け入れます。また、スポーツ競技者へのセカンドキャリア、コーチ・指導者へのリカレント教育、保健体育科教諭への教職専修免許状取得等の機会を提供する観点から、社会人の入学を積極的に受け入れます。」との文言に改善した。なお、平成27年度の入学生は6名であり、定員管理を適切に行うように改善した。(27)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	学会発表については義務化されているにも関わらず、学生便覧上は「関連学会にて、研究成果を積極的に研究発表し、学術論文として公表するよう心がける」との表記に留まっている。これは実状にあった表現となっていないため、早急に文言を修正するとともに学生に対しては誤解を生じないような説明を行うこと。(生涯スポーツ学研究科)	改善意見	平成27年度入学者向けの学生便覧から、従前の「関連学会にて、研究成果を積極的に研究発表し、学術論文として公表するよう心がける」との文言を削除し、「全国規模の学会にて、研究発表することを学位授与の要件とする」の文言へと改善した。(27)

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	生涯スポーツ学部健康福祉学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	本学科は、今日的課題である人口減少、高齢化に伴う国の医療福祉対策の動向を踏まえながら、それを担う人材養成を目的として、平成26年度開設した。 本学科は、社会福祉士と介護福祉士および健康運動実践指導者という複数の資格取得が可能であり、道内多くの市町村からも福祉・介護と健康運動の知識や技能を兼ね備えた人材が求められている。しかし、平成26年度(開設初年度)入試においては、本学科のコンセプトが受験生に十分に浸透しきれていなかったために、出願に結びついていない結果となり、定員60名に対し36名(60%)の入学人数であった。平成27年度入試においては、広報等により本学科のコンセプトの理解を高校生に深め、44名(73%)の入学人数を得ることができ、未だ十分な結果ではないが、少しく改善することができた。(27)	平成28年度入試に向けては、本学科の社会的役割と教育内容の特色をより一層深めるとともに、広報活動の浸透を図り、入学定員により近づける学生確保に努める。(27)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	教育文化学部芸術学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	美術・メディアデザイン・インテリア建築・服飾美術・舞台芸術をとおして地域の芸術文化活動や教育現場に貢献できる人材の育成をねらいとして芸術学科を新設した。本学科は、中・高等学校教諭1種免許状(美術)や2級建築士受験資格などの免許・資格の取得が可能である。しかし、健康福祉学科と同様、平成26年度(開設初年度)入試においては、学科の特色に関する広報が遅れたことにより、出願に結びついていない結果となり、定員50名に対して25名(50%)に留まった。平成27年度入試においては、34名(68%)の入学人数を得ることができ、少しく改善している。(27)	平成28年度入試に向けては、「1.受験生に一層理解しやすい広報活動の展開」「2.学生の満足度を上げる教育実践の徹底」「3.各々の学びの専門性を活かし、徹底した就職率の向上」の3つの方策を着実に実施し、入学定員により近づける学生確保に努める。(27)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	既設学部等(北翔大学短期大学部ライフデザイン学科)の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	本学科では、平成27年度入試における学生確保のために、様々な工夫をして教育内容の理解を深める努力をしてきたが、当該年度は、26名(52%)の入学人数に留まり、厳しい結果となっている。このような状況を打破するために、これまでの厳しい実情の検証をし、教育内容の見直しを図った。(27)	教育内容見直しの結果、社会的に有用性が高く、かつ、市場性のある新たなビジネス関連資格やファッション関連資格を設け、実効性ある学生確保を図ることとした。現在、平成28年度入試に向け、この教育内容を基に具体的な活動に入っている。(27)

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

輩出

<教育文化学部 教育学科・芸術学科・心理カウンセリング学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 卒業要件単位数 124単位 初等教育コース 必修53単位 選択71単位 幼児教育コース 必修57単位 選択67単位 養護教諭コース 必修77単位 選択47単位 音楽コース 必修63単位 選択61単位	① 教員免許課程認定申請時の指摘により、各コースの必修科目単位数を追加し、選択科目単位数を削減。 (別添○「新旧対照表」参照) 初等教育コース 必修81単位 選択43単位 幼児教育コース 必修81単位 選択43単位 養護教諭コース 必修81単位 選択43単位 音楽コース 必修81単位 選択43単位 (26)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・短期大学部を含む全学的なFD支援委員会を設置している。 ・FDの目的、諸活動を実施するための決議機関としてFD推進会議がある。 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) ・FD支援委員会 月1回 その他臨時開催 ・FD推進会議 年2回 その他臨時開催 c 委員会の審議事項等 ・授業改善アンケート、研修会開催、その他FD活動に関して ② 実施状況 a 実施内容 ・ 授業改善アンケート ・ 授業公開 ・ 新任教員研修会 ・ FD/SD研修会他 b 実施方法 ・ 授業改善アンケート:大学院生全員アンケート配布(アンケート内容については、大学院で決める) ・ 授業公開:公開期間内に学部学科を超えて参加できる授業に参加する。 ・ 新任教員研修会:毎年5月実施 ・ FD/SD研修会他:FD支援委員会主催の研修会 c 開催状況(教員の参加状況含む) ・ 授業公開:公開期間となっているため参加しやすくなり、年々参加者が増えている。 ・ 新任教員研修会:授業が無い限り参加する。 ・ FD/SD研修会:FDの浸透により参加者が増えている。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 研修会、授業公開等参加し授業の幅が広がり授業改善の参考となっている。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・ 前期、後期の2回予定 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 実施したアンケートを纏め研究科で改善を検討する ・ 実施結果を各教員に返却し、返却後に改善等のコメントをもらう。 ・ 学部学科は、FDネットワーク”つばさ”研究年報及び図書館で公開する。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(1) 教育文化学部

教育文化学部は、教育学、芸術学、心理学それぞれの専門領域の特質を生かしつつ横断統合した学部である。これまでの教員養成機能と芸術デザイン・対人援助分野における建学の精神を継承した職業人養成機能をさらに充実・発展させ、「学校教育」分野や様々な「文化」の分野、心理面での「対人援助」の分野で活躍できる実践的で幅広い視野を持つ人材を養成する。それは、未来を担う子どもたちの教育に関わり、地域社会の様々な文化・芸術活動の発展に貢献し、人間理解と対人援助に力を注ぐ実践能力を身につけた人材を養成するものである。さらに、教育文化学部では、「幅広い教養を身につけた自立できる社会人の育成」を旨とする本学の建学の精神の具現を目指している。

本学部では、教育学、芸術学、心理学それぞれの学科の教育課程の円滑な運用をととして、また学部共通科目や発展科目など、一つの専門分野だけでなく、様々な関連分野も含めた総合的・学際的な学びの場を提供する。さらに全学共通の基礎教育科目や全学年を貫き取り組む就業力養成科目をととして、社会人基礎力や課題解決能力の醸成など、現代社会が求める能力の習得を目指す教育を展開する。それらにより柔軟な思考と豊かな感性そして広い教養を備えた質の高い実践的な職業人や教員が具備すべき能力を養うものである。

教育文化学部は、既存の生涯学習システム学部学習コーチング学科（主に小学校教諭・幼稚園教諭・特別支援学校教諭の養成）と生涯学習システム学部芸術メディア学科（美術、メディア、インテリア建築、音楽、服飾美術、舞台芸術の6分野）、そして人間福祉学部福祉心理学科（臨床心理・福祉カウンセリング、養護教諭の養成）の3学科に、人間福祉学部医療福祉学科の精神保健福祉の分野を含め、それぞれの専門分野を分割再編して、新たに教育学科・芸術学科・心理カウンセリング学科の3学科として充実・発展させた学部である。

教育学科は、学習コーチング学科に芸術メディア学科の中学校・高等学校音楽教諭と福祉心理学科の養護教諭の養成機能、さらには保育士養成を加えて、幼児・児童・生徒への教育を担う人材養成を総合的に行う学科として編成し直したものである。また、芸術学科は、既設の芸術メディア学科の音楽を除くアート・デザイン分野を再編成し、芸術5分野を幅広くかつ職業人としての専門性を深化させ得る学科として編成し直したものである。そして、心理カウンセリング学科は、既設の福祉心理学科の臨床心理分野・福祉カウンセリング分野に医療福祉学科の精神保健福祉分野を加えて、一人ひとりの人間生活を心の面から包括的に支える人材の養成を行う学科として設置するものである。

教育文化学部では、専門的な知力を総合的な実践力へとつなげ、教育現場や関係諸機関・産業界において、そして広く地域社会において、教育文化の継承・発展に寄与する専門職業人を養成する。

人口減少期に入った北海道において、高齢化と過疎化が進行するなかで地域の活性化は課題である。教育をととして、地域活性化に貢献する人材養成、地域文化の担い手としての人材養成、心の豊かさを支援する人材養成が強く求められている。

教育文化学部は、教育分野、芸術分野、心理分野の3学科の特性を活かしつつそれらが連動し、学部の保有する教育力を駆使して専門分野を横断する総合的な学習の機会を提供する。これにより、総合力や応用力を身につけることが可能となり、地域社会の「教育力」「文化力」「心の豊かさ」を担う広く地域文化の活性化に貢献できる専門職業人、高い専門性と総合性を兼ね備えた優れた実践力を持つ人材を養成する。(26)

教育文化学部は、教育学、芸術学、心理学それぞれの専門領域としつつ、「学校教育」分野や「文化」の分野、さらには心理での「対人援助」の分野での人材を育成している。その初年次として、全学共通の科目、発展科目、さらには就業力育成科目をととしてカリキュラムポリシーにある「柔軟な思考と豊かな感性、そして幅広い教養を備えた質の高い実践的な職業人や教員が具備すべき能力」と「社会人基礎力や課題解決能力の醸成など現代社会が求める能力」の育成を進めてきた。また、教職課程として、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、中学校・高等学校教諭（音楽、美術）をおき、さらには保育士養成課程においても適正な運営を行ってきた。平成27年度の定員充足については学部定員220名に対し199名（90.5%）であり、今後さらに教育活動の充実と情報の提供に努める。(27)

(2) 教育学科

平成18（2006）年4月に幼児・児童の学習活動を支援する人材養成を目的とし学習コーチング学科が設置された。ここでは、学習者の視点に立ち、学習者が自ら問題を発見し、自ら問題解決に取り組む学習活動を支援する理論と手法について教育・研究し、これまで7年にわたり幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭をはじめ生涯学習を幅広く支援する人材の養成を進めてきた。一方、平成13（2001）年度開設の人間福祉学部福祉心理学科養護実践学コースでは、児童・生徒の命を預かる責任感と倫理的意識をもった専門職としての養護教諭を養成し、さらに平成12（2000）年度開設の生涯学習システム学部芸術メディア学科音楽コースは、音楽の基礎知識をしっかりと身につけ、高度な技術と豊かな表現力をもった音楽家や音楽教育の支援者を養成してきた。

これらを発展的に統合する教育学科では、幼児・児童・生徒の視点に立ち、豊かな人間性と柔軟な思考力をもち、高い専門性と実践力を身につけ、学校教育はもとより生涯学習社会での様々な場面で展開される文化・学習活動を支援し、地域貢献することのできる人材を養成する。さらには、現代的教育ニーズとして重要となっている特別支援教育に関する理解を高め、教職における幅広い見識と実践力を育成するものである。

教育学科では、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、中学校・高等学校教諭（音楽）、養護教諭や保育士の養成、さらには幼児・児童・生徒への教育に関わる幅広い知識と実践力をあわせ持ち、柔軟な視点から行動し、時代に対応できる高い資質と能力を有する人材を養成する。

また、資格取得と履修指導をわかりやすくするために、初等教育コース（主に児童教育）、幼児教育コース（主に幼児教育）、養護教諭コース、音楽コースの4コースを設定する。初等教育コースは主に小学校教諭（小学校、特別支援学校）として、幼児教育コースでは主に幼稚園教諭や保育士として、生涯発達における幼児・児童期の意義・役割を理解し、学習支援に関わる専門知識と技術を学ぶ。養護教諭コースは、児童・生徒のこころとからだのケアを専門分野として、生涯をとおしての心身の健康維持を支援できるための専門知識と技術を学ぶ。音楽コースは、中学校・高等学校教諭（音楽）としての専門的スキルに加えて、音楽をとおして潤いのある豊かな生活を送るための専門知識と技術を学ぶ。

修得する授業科目は、講義のほか、学校ボランティア活動など、演習や実習を適切に取り入れて展開する。

平成26年度の教育学科の入学者は118名であり、その各種講義における指導が平成26年4月より開始された。（26）

初等教育・幼児教育・養護教諭・音楽の4つのコースで構成されている教育学科の平成27年度入学生は、定員120名のところ2名超過した122名であった。

以下は、平成26年度中に活動した4コースの状況について特徴的な点を述べたものである。

初等教育コースでは、小学校と特別支援学校の二つの教員免許取得を目指す学生が多いため、学科では平常の講義・演習に対しても、個々の免許種に沿って、また学外での行事等においても教員としての資質向上に力を注いできた。

幼児教育コースでは、全体的な理論の習得と併せて保育内容5領域の習得に力を入れ、それを学内での発表会や地域の行事への参加、幼稚園等のボランティアなどの実践的な活動に取り入れている。

音楽コースでは、中学校・高校の教員養成が中心であるため、学生が将来専門科目として「音楽」を担当することを前提に、音楽理論・各種の器楽演奏技術等の向上を目指して指導に当たっている。

養護教諭コースでは、2年次から学外実習が開始するため、それを見越して学生の指導を1年次から綿密に実施している。養護教諭としての資質を高めるため、養護教諭の研究会への出席、実際の養護教諭を招いた交流などにより実践的な学習に臨ませた。

このように4つのコースが各々計画的に教育活動を実践し、教育学科の主たる目的である教員養成を行い、専門的職業としての輩出を目指している。今後もこの方針を継続させ教員養成としての学科目標を追求する所存である。（27）

（3）芸術学科

芸術学科は、学園開学以来の「ものづくり」や「創造性」に関わる教育の伝統を引き継ぎ平成12（2000）年度に開設した「芸術メディア学科」を発展的に改組するものである。

昭和38（1963）年度に被服科の創設から始まった北海道女子短期大学（現北翔大学短期大学部）では、翌年の昭和39（1964）年度に服飾美術科と工芸美術科を配置し、美術、工芸、デザインを中心とした美術教育がなされ、豊かな表現力と感性を備え実践力のある人材を養成してきた。そして、芸術メディア学科では、メディアデザインと空間デザイン領域を追加し、美術・デザイン分野の教育環境を拡充し、さらに平成21（2009）年度より、本学伝統の服飾美術と新たに舞台芸術領域を加え、視覚芸術だけでなく、身体芸術や生活芸術を包含した総合的な芸術教育に取り組む体制を整えてきた。

本学科の設置の目的は、これまでの本学の芸術教育の伝統を活かし芸術の専門性を深め、加えて多様な芸術表現を横断的に学習できる教育体制により、演習・実習の実践的な教育をとおして創造性とコミュニケーション能力が豊かな人材を育てることである。とりわけ、少子高齢化と地方の過疎化が進む北海道において、地域活性化の柱となるのは、自然と産業と文化の総合的な協働作業から新しい発想の運動や生活スタイルを創出できる人材を養成することである。また、あらゆる分野で進むグローバル化は、ますます地球の物理的距離を縮め、境界線をなくす方向に進んでいる。そこには、最新の情報技術が必要であり、新たな文化創造の可能性がある。そういう状況にあって、地域の人々が、日々の生活や仕事で自ら思考し、自ら工夫するという自発性や創意が必要なことはいうまでもない。つまり、北海道地域に多数ある豊かな素材をつなげる発想力と創造力がこれから最も求められるものであり、それには芸術的な教養や感性の洗練が不可欠である。したがって、芸術について専門的な知見を有する人材養成については、その社会的な要請がますます高まっていると考えられる。そこに芸術学科の設置の必要性がある。

芸術学科では、美術、メディアデザイン、インテリア建築、服飾美術、舞台芸術などの各芸術領域を学ぶ。基礎教養教育と幅広い芸術文化の基礎理解をとおして多様な考え方や価値観を知り、多角的に物事をとらえることによって発想の豊かさを身につけ独創性を醸成する。また、表現力と創作力についての専門的スキルを獲得し、実社会と関わって実践する力を修得し、自立するための基礎力を身につける。このように芸術分野をとおして創造性を培い、社会で自立するための基礎力と実践力を有する人材を養成する。理論と実践に関わる研究を深め、共同制作や発表活動を活発に行うことによって、あらゆる職種において芸術性を活かし、自らの人生を切り拓き、社会貢献できる人材を輩出する。また、美術教育並びに生涯学習の観点から、中学校、高等学校、美術館、博物館、劇場、福祉施設、NPO等でアートの専門知識とコミュニケーション能力を活かし、芸術文化の持つ豊かな力や技法を教えられるような、様々な世代の人々にアートの普及活動ができる教育者や支援者の養成も目指している。

平成26年度の芸術学科の入学者は25名であり、その各種講義における指導が平成26年4月より開始された。（26）

設置初年度は、既存の前学科とも連携しながら教育活動を順調に進めている。学科定員50名に対する初年次での入学生が25名（50%）であり、学生の確保についての改善意見をいただいた。平成27年度入学生は34名（68%）に微増し少しながら改善しつつあるが、いまだ定員充足には至っておらず、現状について厳しく受け止め、さらに改善努力をする。

平成28年度入試に向けて、「1. 受験生に一層理解しやすい広報活動の展開」「2. 学生の満足度を上げる教育実践の徹底」「3. 各々の学びの専門性を活かし、徹底した就職率の向上」の3方策を改善計画として取り組むことを報告いたしました。これらを具現化するためにも、学科教育課程を充実させその内容を適時的確に情報発信しつつ、キャリア教育、就業力育成教育とも相まって就職率の向上に結実できるよう努力する。（27）

（４）心理カウンセリング学科

現代社会において、乳幼児期から高齢期に至るあらゆる年齢層で心の問題を抱え、心のケアや生活支援を必要とする人が数多くいる。例えば、高齢者介護では、厚生労働省推計（平成24（2012）年8月発表）によれば認知症高齢者数は平成22（2010）年には280万人、平成37（2025）年は470万人に達するとされている。その結果、介護疲労等による介護者のうつなどの精神疾患の増加が指摘されている。また、教育の現場では、依然として不登校やいじめの問題があり、平成24（2012）年8月の文部科学省速報値によれば不登校は、全国で11万7,458人（小学校、中学校、中等学校）、同じくいじめは、70,231人（小学生、中学生）になっている。発達障害、児童虐待、被災等、個別の心理的支援を必要とする児童・生徒の増加も指摘されている。さらに、我が国全体の問題として自殺者の多さがあり、平成25（2013）年3月の内閣府自殺対策推進室資料によれば、平成24（2012）年（1月～12月）は、27,858人で、平成23（2011）年まで14年連続で30,000人を超えていたのがようやく減少に転じた。しかし諸外国と比較すると、日本の自殺死亡率は上位50カ国中8位（平成23（2011）年）であり、深刻な事態が続いている。

こうした傾向は、北海道においても同様であるが、北海道は、過疎化と高齢化が急速に進行しており、その結果、他の都府県に比べ核家族化が顕著で独居高齢者が多く、平成22（2010）年国勢調査では、高齢者世帯に占める独居老人率は61.1%と高い。さらに家族世帯で支え合う平均世帯員数は全国平均2.42人に比べ北海道は2.21人と少なく、要介護高齢者の特別養護老人ホームなどの施設利用率が高い。施設利用率の高さは、精神医療においても同様であり、平成25（2013）年精神保健福祉白書によれば、人口1万人あたりの精神科病院病床数が全国平均26.9であるのに対して北海道では38.0と高い。

一方、過疎化による地域関係の希薄化と家族の縮小とは別に、社会資源の偏在が顕著であることも北海道の地域特性である。心のケアを行う専門機関、専門職の配置を見ると、例えば、心のケアを行う医療機関は、札幌市などの大都市部に集中しており、教育現場に配置されるスクールカウンセラーも都市部において充実しているが、都市部以外では必ずしもそうではない現状にある。平成22（2010）年度における道内の小・中学校に配置されたスクールカウンセラーは、223校111人である。その配置状況は、札幌市は配置率100%であるものの、石狩教育局では88%、道北の宗谷教育局では7%と低く、他の教育局においても30%から40%台である（「スクールカウンセラーの取組」北海道教育委員会 平成23（2011）年3月より）。

従って北海道の心のケアをめぐる課題は、増加する心の健康に不安を抱える人々や心に疾患をもつ人々などへの支援と北海道の地域特性からくる施設（病院）利用の偏重を解消し、できるだけ地域生活を保障していく体制の構築である。そのために、子どもから高齢者までの幅広い層と多様な生活場面に対応する対人援助の専門職の養成が求められている。すなわち、心理学（心の理解とケア）と社会福祉学（生活支援）の専門的知識と技能をあわせもち、地域住民が心豊かに暮らすことに貢献する人材を養成することである。

北翔大学では、これまで人間福祉学部福祉心理学科並びに医療福祉学科において、主に福祉を基盤に心理学と精神保健福祉学の領域で人材の養成に取り組んできた実績があるが、さらに、現代社会における心の問題を抱える人への支援にあたっては、近年の対人援助の各専門領域で重視されている、生物－心理－社会モデル（bio-psycho-social model）を念頭にこれらの各側面から多面的・統合的に人間を理解し援助する能力が必要である。そのためには、心理学の知識に基づく客観的な人間理解の能力と、ソーシャルサポートにかかわる包括的な知識とをあわせもち、さらに、高度のカウンセリング能力を涵養することにより、あらゆる領域で柔軟に対応し得る対人援助職の養成にあたることが求められる。

本学では、こうした社会的要請に応えるために、心理学、社会福祉学、教育学を統合した学際的観点に立ち、一人ひとりの生活を包括的に支える対人援助の専門職を養成する新たな教育体制を構築することにし、汎用性の高い対人援助の総合的アプローチとしてのカウンセリングとそれに関連する諸技法を用いて、生活課題を有する人々との問題解決に寄与する心理カウンセリング学科を設置することにした。そして、心理カウンセリング学科を「教育文化学部」に設置することにより、教育や芸術についての幅広い知識と豊かな教養を兼ね備え、医療、保健、教育・保育、福祉、民間企業等の多様な現場で、多面的観点から問題解決できる人材を輩出することを目的としている。

心理カウンセリング学科では、心理学の幅広い領域を網羅する科目を中心に配置し、所定の科目の履修により卒業時に、認定心理士資格、福祉心理士資格、産業カウンセラー受験資格及び精神保健福祉士受験資格を取得することができる。特に国家資格である精神保健福祉士の業務は、精神保健領域の相談援助職として地域、行政、労働、司法、教育分野等にまで拡大され、その活躍の場は多岐にわたることから、本学科においては不可欠な資格である。これらの資格に関連する科目に加えて、さらに深い専門性を追求する講義、実験、及び演習科目を履修することにより、人間理解と対人援助についての高い能力をもつ人材を養成する。

平成26年度の心理カウンセリング学科の入学者は35名であり、その各種講義における指導が平成26年4月より開始された。（26）

平成26年度において履行状況に齟齬は見られなかった。「人のこころを理解するための生活理解」を深めるため、入学生は1年次より幅広い分野の講義を受講することにより視野を広げたほか、基礎教育セミナーの一環として実施された宿泊研修において、地域の高校生との交流を含めた農業・福祉等の体験学習を通して生活と心とを結びつけて理解することができ、専門分野の学習を進める土台づくりができた。

また、平成27年度心理カウンセリング学科入学生は43名となり、昨年度よりも8名増加し、定員充足率も昨年度の70%から86%へと増加した。今後更に充足率を上げられるよう、効率的な広報活動等により入試対策に尽力したい。（27）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成27年9月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学内の各部署に各1冊を配布予定
- ・大学ホームページ上に平成27年9月公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

（ 平成27年 6月 末日 ）

北翔大学 F D 規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、北翔大学学則第43条の 2 第 2 項及び北翔大学短期大学部学則第 40 条の 2 第 2 項の規定に基づき、北翔大学及び北翔大学短期大学部（以下「本学」という。）の授業の内容及び方法の改善を図るため、全学的な研修及び研究（以下「F D」という。）の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(F D の目的及び活動)

第 2 条 本学は、前条に掲げる目的を達成するため、次に掲げる諸活動を行うものとする。

- (1) 教員の教育能力向上のための教育技術の開発・向上、授業計画の立案、学習に関する理論の研究及び教育評価方法の習得のための活動
- (2) 教育課程の開発・向上のための授業計画の立案、学習に関する理論の研究及び教育評価方法の習得のための活動
- (3) 教育目的を達成するための教員組織、単位制、クラス編成、修学及び生活指導体制並びに施設向上のための活動
- (4) F D 推進・啓発を目的とした活動

2 前項に規定する目的及び諸活動を実施するための決議機関は、F D 推進会議とする。

また、F D 支援委員会が中心として全学的な活動を行う。

(推進会議の審議事項)

第 3 条 推進会議は、目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 授業改善のため基本方針及び実施体制に関する事項
- (2) 授業評価の実施に関する事項
- (3) 教授方法等の改善のための支援に関する事項
- (4) F D 推進・啓発を目的とした講演会、教職員研修会に関する事項
- (5) その他 F D に関する事項

(推進会議の組織)

第 4 条 推進会議は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 教育支援総合センター長
- (2) 研究科長
- (3) 学部長及び学科長
- (4) F D 支援オフィス長
- (5) 学習支援オフィス長
- (6) 事務局長
- (7) 教育支援総合センター 担当部長
- (8) その他議長が必要と認めたもの 若干名

(推進会議の議長及び副議長)

第 5 条 推進会議に議長及び副議長を置く。

2 議長は、教育支援総合センター長をもって充てる。

- 3 副議長は、議長が指名した者をもって充てる。
- 4 議長に事故があるときは、副議長がその職務を代行する。

(開催・招集)

第6条 推進会議は、定例及び臨時開催とする。

- 2 定例の開催は年2回とする。
- 3 推進会議の開催は議長が招集する。

(推進会議の議事)

第7条 推進会議は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

- 2 推進会議の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(構成員以外の者の出席)

第8条 推進会議が必要と認めたときは、構成員以外の者を推進会議に出席させて、その者から説明又は意見を聴くことができる。

(活動報告)

第9条 議長及び副議長は、FD活動実施状況について年度報告を学長に行う。

その他必要に応じて報告を行う。

(FD支援委員会)

第10条 教育支援総合センターにFD支援オフィス（以下「支援オフィス」という。）、及びその運営審議機関としてFD支援委員会（以下「支援委員会」という。）を置く。

- 2 支援委員会は、第2条各号及び第4条第2項に規定する諸活動等について、推進会議が実施するFD及び教育評価の実施に関する事項について、企画・立案し、実施計画を策定し推進会議の承認を経て実施する。
- 3 支援委員会並びに支援オフィスは、推進会議が決定したFD及び教育評価の実施計画及び実施要領に基づき、必要な実施組織等を編成して実施の任にあたるものとする。
- 4 第2項の実施した活動結果を推進会議に報告するものとする。
- 5 支援委員会の組織については、教育支援総合センター規程に定める。

(結果の公表)

第11条 支援委員会は、FDの実施結果を可能な限り公表するとともに、広く閲覧に供するものとする。

(結果の活用)

第12条 学部等の長並びに構成員は、FD及び教育評価の結果を真摯に受け止め、第2条各号に掲げる諸活動を活性化し、教育の質の向上に努めるとともに、改善が必要と認められる事項については、自ら改善に努めなければならない。

- 2 学長は、FD及び教育評価の実施結果、本学全体に共通する事項で、組織的に改善することが適当と認められる事項については、学部等に改善策の検討を諮問するものとする。
- 3 学長は、特定の学部等に固有の事項で、組織的に改善が必要と認められる事項については、該当学部等の長に改善を勧告することができる。

(推進会議の事務)

第13条 推進会議は、支援オフィスにおいて処理する。

(雑則)

第14条 この規程に定めるもののほか、FD及び教育評価の実施並びに推進会議の運営等に関し必要な事項は、推進会議の議を経て、学長が別に定める。

(改正)

第15条 この規程の改正は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成16年7月6日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則 (校名変更及び機構改正に伴う改正)

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (校名変更及び組織の変更に伴う改正)

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (組織の変更に伴う改正)

この規程は、平成21年5月12日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成22年8月10日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年8月7日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年8月1日から施行する。